「まつど未来づくり会議」の概要

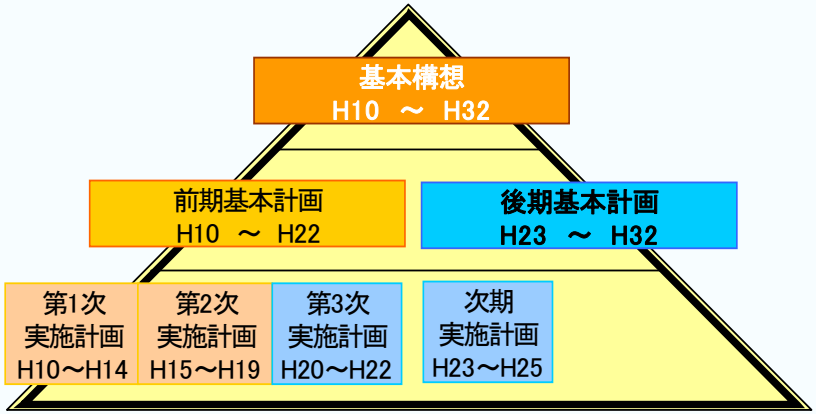
～松戸の強みを活かした未来への指針づくり～

イマジンまつど
～私たちの明るい未来をつくる～

平成21年8月7日
松戸市　総務企画本部　政策調整課
（委託先：(株)ヒューマンバリュー）

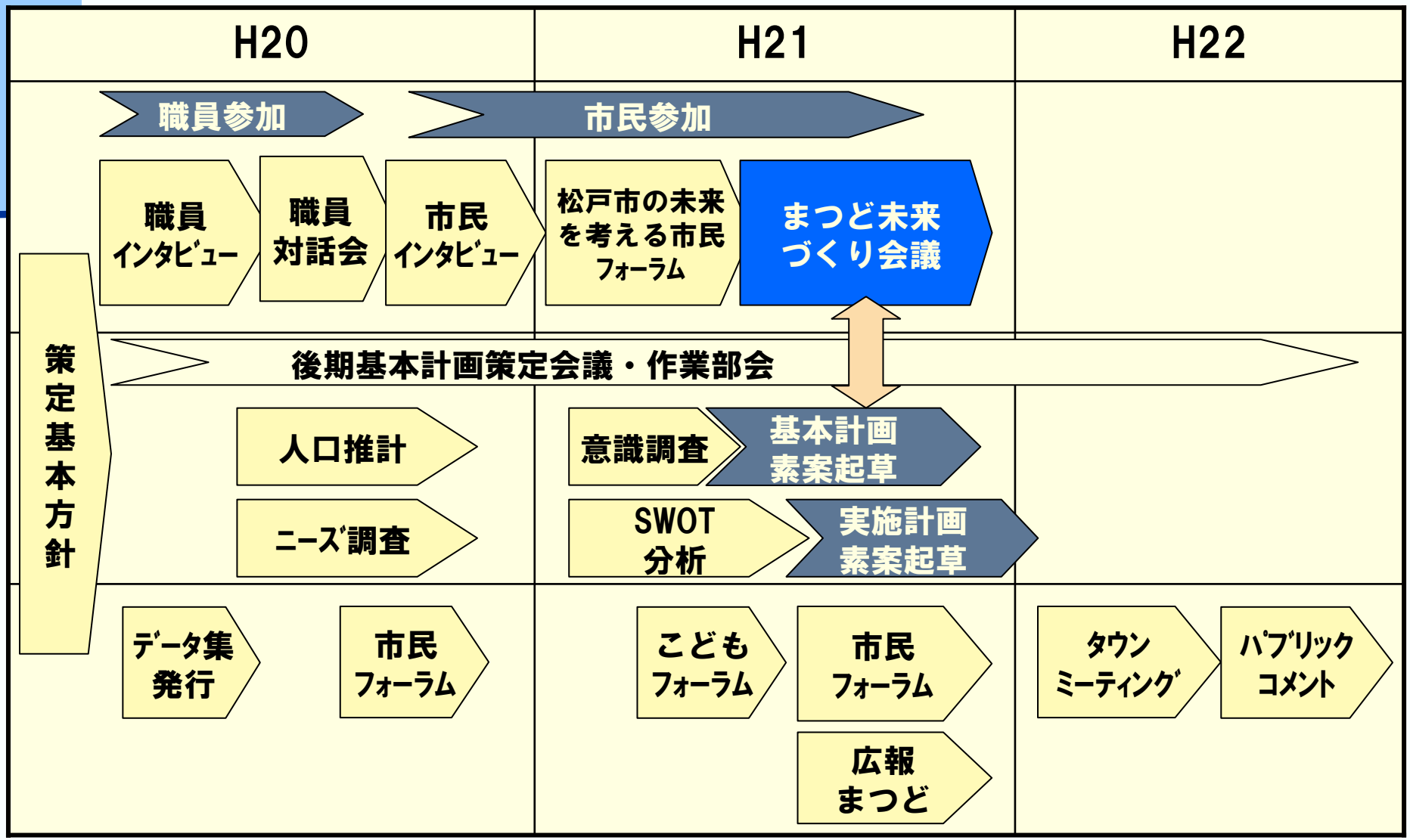
1 「イマジンまつど」とは？

- 松戸市では、「松戸市総合計画前期基本計画」の期間が平成22年度までであることから、20年度から3年間をかけて、「後期基本計画」を策定することにしています



- 今回の「後期基本計画」の策定過程においては、できるだけ多くの市民や職員の想いを聴き、計画に反映していきたいと考えています
- このように、できるだけ多くの市民や職員に、松戸の明るい未来を想像してもらい、その想いを共有し、力を合わせて創造していく取り組みに、今回の計画策定がつながることを期待して、一連の取り組みを「イマジンまつど～私たちの明るい未来をつくる～」としています

2　全体スケジュール


H20
H21
H22
職員参加
市民参加
職員
インタビュー
職員
対話会
市民
インタビュー
松戸市の未来
を考える市民
フォーラム
まつど未来
づくり会議
策定基本方針
後期基本計画策定会議・作業部会
人口推計
ニーズ調査
意識調査
基本計画
素案起草
SWOT
分析
実施計画
素案起草
データ集
発行
市民
フォーラム
こども
フォーラム
市民
フォーラム
広報
まつど
タウン
ミーティング
パブリック
コメント

3　未来づくり会議の概要

- **目的**
  - テーマに対して関心が高い市民と担当の職員が一緒になって、松戸市の強みや現状をデータ等で共有しながら、「目指したい姿の宣言文」や「指標」、「市民と行政それぞれの役割」について検討し、市に対する提言を行います
- **ゴール**
  - 個別のテーマ（施策の大綱）についての深堀を行います
  - 基本計画策定に向けて、分科会ごとに、テーマにそって松戸市の強みを活かす指針づくりを行います
  - 計画に反映できるよう、分科会のテーマごとに指標と役割を設定します
- **進め方**
  - 全体会（分科会キックオフ）で、6つの分科会メンバー全員が集い、分科会の目的・プロセス・役割について改めて理解し、検討をスタートさせます（H21.8.7）
  - 分科会を、各3会合程度（１会合：2～3時間程度）開催します。各テーマについて話し合い、深堀をし、最終的に提言にまとめます（H21.8～10）
  - 全体会（全体発表）で、各分科会でまとめた内容を全体に発表し、フィードバックを受ける場とします（H21.11.7）
- **活用資料**
  - 松戸の強みと弱みを考えるデータ集（23政策）
  - 後期基本計画のための市民ニーズ調査　報告書
  - 人口推計　報告書
- **アウトプット**
  - 目指したい姿の宣言文
  - 指標
  - 市民と行政それぞれの役割

4　6つの分科会のテーマ①

第1節　連携型地域社会の形成

松戸で暮らし活動するすべての人々にとって、差別や偏見がなく基本的人権が尊重され、その能力を十分に発揮できる機会が平等に得られるまちづくりを進めます。また、市民の創意と英知を結集した力がまちづくりに生かされ、市民と行政とが協力し合う連携型地域社会を形成します。

01　市民と行政の協働を推進する
02　一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会をつくる

第2節　豊かな人生を支える福祉社会の実現

一人ひとりの市民が、その生涯を通してそれぞれの生活に合わせた成長発達ができ、いつでも心のはりをもった豊かな人生を送れるよう、保健・医療・福祉の機会を拡充していきます。また、思いやりのある福祉が充実し地域の活力を維持し増進できる地域社会をめざし、互いに支え合って生きることができる福祉社会を実現します。

03　健康に暮らすことができるようにする
04　病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにする
05　安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにする
06　市立病院として高度で良質な医療を提供する

第3節　次代を育む文化・教育環境の創造

すべての市民が生涯にわたって主体的に文化、芸術、スポーツなどを学習できるよう環境を整備し、国際的な広い視野と平和を愛する心が育まれ、郷土に誇りと愛着がもてるまちづくりを進めます。また、次代の担い手である子どもたちが、個性と創造性を備えた自立した人間として成長できるよう、家庭や地域社会とともに子どもたちを育てていきます。

07　子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにする
08　生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにする
09　松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにする

4　6つの分科会のテーマ②

第4節　安全で快適な生活環境の実現

市内に残された自然環境を守り、まちづくりに生かしながら、より自然の恵みを享受できるゆとりある快適な生活空間を整備するとともに、地球規模での環境問題の解決に貢献するため、持続的発展が可能なリサイクル型のまちづくりをめざします。あわせて、防災・防犯体制の整備や消費者行政の推進により、安全で安心できる快適な生活環境を実現します。

11　火災等の災害から市民生活を守る
12　救急救命が必要になった市民の生命をつなぐ
13　環境にやさしい地域社会をつくる
14　犯罪や事故のない安全で快適な地域社会をつくる
15　緑と花に親しむことができるようにする

第5節　魅力ある都市空間の形成と産業の振興

快適でゆとりある都市を実現するために、秩序ある土地利用を誘導し、都市活動と経済活動が調和する都市機能の強化や拠点の育成、整備に努め、魅力ある都市空間を形成します。
また、広域的な交流を促進し、次代を担う先導的な産業の育成や、新たな都市型産業の展開により就業の場としての魅力を高め、活力とにぎわいのある産業の振興を図ります。

16　地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする
17　個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにする
18　ゆとりを感じるまちに住むことができるようにする
19　誰もが安心してスムーズに移動できるようにする
20　安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする
21　いつでも安心して水道水が使えるようにする

第6節　都市経営の視点に立った行財政運営

多様化・高度化する市民ニーズに対して的確かつ迅速にこたえるため、効果的で効率的な行政運営を推進するとともに、財源の確保を図り、長期的な事業計画に基づき適正な財政運営に努めていきます。さらに、近隣自治体との連携を高め、国、県、関係機関との協調も図りながら、市民、事業者、行政の強力なパートナーシップのもと、地方自治の確立に努めます。

22　市民ニーズに基づく行政経営を行う
23　財源、財産を適正に管理し、配分する

5　未来づくり会議の委員数

	関係団体関係者	学識経験者	公募市民	市職員	計
第1節　連携型地域社会の形成	5	0	6	2	13
第2節　豊かな人生を支える福祉社会の実現	8	0	2	2	12
第3節　次代を育む文化・教育環境の創造	9	0	0	2	11
第4節　安全で快適な生活環境の実現	10	0	0	3	13
第5節　魅力ある都市空間の形成と産業の振興	8	0	1	3	12
第6節　都市経営の視点に立った行財政運営	5	2	1	3	11
計	45	2	10	15	72

※　詳細は、資料2参照

6　市民参加の取り組みのプロセス

計画のビジョンを描きます

20年11月～21年4月
①あなたの想いを聴くインタビュー（市民編・職員編）

後期基本計画　施策の大綱のビジョン

第1章：連携型地域社会の形成
第2章：豊かな人生を支える福祉社会の実現
第3章：次代を育む文化・教育環境の創造
第4章：安全で快適な生活環境の実現
第5章：魅力ある都市空間の形成と産業の振興
第6章：都市経営の視点に立った行財政運営

達成状態を検討します

21年7月4・5日、9・16日
②未来フォーラム

21年8月7日～11月7日
③まつど未来づくり会議

後期基本計画　23政策への提言

1. 目指したい姿の宣言文
2. 指標
3. 市民と行政それぞれの役割

7　未来づくり会議の最終成果品の活用について

- 後期基本計画策定に向けての提言
  - 各分科会で出された成果品（提言）を受けて、庁内の策定会議において、計画素案の策定を行います
  - 各分科会は、政策ごとに「目指したい姿の宣言文」「指標」「市民と行政それぞれの役割」の3つの成果品を作成します
  - ただし、限られた時間の中で検討を行いますので、所掌する政策全てについて成果品を出さなくてもよいことにします

8-1　目指したい姿の宣言文

- **各分科会の政策の中で、自分たちがどういう状態を実現したいのかを考え、「目指したい姿の宣言文」を作成し、提言します**
  - 「目指したい姿の宣言文」とは、私たちの夢を実現し、現実的に達成したい状態に到達するために、具体的にどう変えたいかについて、メンバーを喚起させる声明文とします
  - 「目指したい姿の宣言文」を委員皆で考えることにより、各人がどんな想いをもっているのか、現実的にどんな状態を実現したいのか、そのためにどのようなことに取り組んでいきたいのかが、その背景とともに共有できるようになります
- **例：～安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにします～（政策5関連）**
  - 「生涯を通して必要な時に健康福祉施設サービスが必要度に応じて利用できるようになる」
  - 「性別にかかわらず、社会・家庭での役割が、今以上に選択できるようになる」

8-2 指標

- **各分科会ごとに作成した「目指したい姿の宣言文」を、より具体的に表す指標にはどのようなものがあるかを検討し、市が目指したいゴールとしての指標案を提言します**
  - 指標を明らかにすることで、
    - 何を高めることが、目標達成に結びつくのかが見え、目標やゴールがより具体的・明瞭にします
    - 関係者の間で目標やゴールを共有できるようにします
    - 指標に照らして、施策がうまくいっているか、いないかが理解でき、進行状況を確認できるようにします
- **例：～健康に暮らすことができるようにする～（政策7関連）**
  - 目指したい姿の宣言文：「子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにする」
  - →指標：「目標をもって学校生活をしている児童生徒の割合」…etc

8-3　市民と行政それぞれの役割

- **目指したい姿の宣言文や指標を実現するために、市民と行政それぞれがどのような役割を担い、どのように関わりあっていくのかを各分科会ごとにまとめます**
  - どういった価値を生み出すために、どのような範囲で、どういった人々が、どんな行動（貢献）をすることが望ましいのかを具体的な行動レベルでまとめます（市民が主導となって行う行動、行政のサポートのあり方、互いの協働の仕方、今後さらに一緒になって探求を深めていきたいテーマなど）

9　未来づくり会議結果の計画書反映イメージ

第○節　基本構想に定める「施策の大綱」です
第○項　後期基本計画で新たに定める「施策展開の方向」です

1　現況と課題
「施策展開の方向」ごとに、社会経済環境の変化、ニーズや市の役割の変化、変化により生じる課題を整理します

2　松戸の強み（潜在力）
「施策展開の方向」ごとに、これまでの取り組みなどから生み出されたり、もともと持っている強み（潜在力）を整理します

3　基本的な方向（将来ビジョン）
松戸の強み（潜在力）を活かすことにより、実現したい社会の姿を表現します

目指したい姿の宣言文

指標

4　施策の展開方向（まちづくり指標・目標）
将来ビジョンを実現に向けて、市民や社会の状態がどのような状態になっているのかを把握するための指標（まちづくり指標）とめざしたい水準を示します
【めざす姿】

まちづくり指標	単位	めざそう値			
		基準値	H25	H28	H32

市民と行政それぞれの役割

5　市民と行政それぞれの役割
将来ビジョンを実現するために、市民と行政がどのように役割分担するかを示します。
市民は、個人や家庭、地域、NPO、企業などに分けて示すようにします

6　関連個別計画
当該施策に関連する個別計画名称を記載します

10　分科会の内容・進め方

	全体会（8月7日）		分科会			全体会（11月7日）
	全体	分科会	①（8月下旬）	②（9月下旬）	③（10月中旬）	
ねらいと概要	■ 意義・方向性の確認 ■ 松戸市の全体状況のデータによる理解 ■ 参加者自身の想いや課題意識の共有		テーマ・施策についての理解・探求促進	「目指したい姿の宣言文」の検討	「指標」「市民と行政それぞれの役割」の検討	全体共有（市への提言）&フィードバック
検討内容	■ 委嘱状の交付 ■ 全体の趣旨説明 ■ 各分科会に別れての議論		■ 行政からの情報提供 ■ 情報提供をもとにした対話・議論 ■ キーワード抽出	■ これまでの対話を踏まえて、「目指したい姿の宣言文」を検討	■ 指標の検討 ■ 市民と行政それぞれの役割の検討 ■ 最終アウトプット作成	■全体発表 ■全体での対話
アウトプット	■ 分科会長・副会長の選任 ■ 今後の分科会のスケジュール		■ 対話・議論レポート ■ 各政策のキーワード	■ 対話・議論レポート ■ 目指したい姿の宣言文	■ 指標 ■ それぞれの役割 ■ 全体会発表用資料	■市への最終提言

まつど未来づくり会議
～松戸の強みを活かした未来への指針づくり～

分科会（第２部）
ワークブック

平成２１年８月７日（金）

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

第１回分科会の内容

- オリエンテーション
  - 自己紹介
  - 未来づくり会議の進め方の確認
  - これまでの話し合いの振り返り
  - 分科会長・副会長の互選、及び分科会スケジュール計画
- 松戸市に関する情報提供　基礎編
  - 情報提供者：松戸市政策調整課
- 分科会内検討
  - テーマについての想い・課題意識の共有
- 全体発表

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

オリエンテーション

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

自己紹介

- お名前と所属等を簡単に１分以内でご紹介ください

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

取り組みの流れ

- 「あなたの想いを聴くインタビュー」（H21.2月～4月）を通して・・・

どんな松戸市の未来を実現したいのかについて、
一人ひとりが、大きな夢を描きました

- 「未来フォーラム」（H21.7月）を通して・・・

幅広い人々が一堂に会して話し合い、未来の松戸市について、全体の方向性(全体像)が共有されました

- そして、「未来づくり会議」（H21.8月～11月）では・・・

各政策ごとに、どんな状態を実現していきたいのかを検討し、達成状態と実現に向けた指針を考えます

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

未来づくり会議進行のポイント

1. 幅広い影響関係者が一体となって取り組む
2. 探求を深める
3. オープンな話し合いを行う

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

1．幅広い影響関係者が一体となって取り組む

会社員・パート

保健・福祉・医療
関係者

ボランティア団体

学校・子育て
関係者

会社経営・自営・
専門家

社会教育・社会
体育関係者

環境・緑化団体
関係者

人権・男女共同
関係者

行政関係者

防災・防犯・まちづくり
関係者

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

2．探求を深める

- 探求とは、物事の真の姿を探って見極めること
- 未来づくり会議では、より広く、より深く、より具体的に、より実現可能な検討を行っていきます

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

未来づくり会議で探求を深めるプロセス

第1会合（全体会）

（０）私たちはこれまで何を話し合ってきたか？
- 未来フォーラムで話し合ってきた松戸市の全体像について確認し、今後の検討の前提とします

（Ⅰ）私たちはどんな考えや想いをもっているか？
- テーマについて、各参加者がどんな考えや想いをもって参加しているかを明らかにし、これからの話し合いのベースをつくります

第2会合

（Ⅱ）松戸市の強みや現状はどうなっているのか？
- 各政策に関する松戸市の強みと現状について、基本となるデータ等を紹介し、より深い理解をします

（Ⅲ）私たちは何に取り組まなければならないのか？何に取り組みたいのか？
- これまでの探求を踏まえたうえで、私たちが取り組まなければいけないこと、取り組みたいことについてのアイデアを出します

第3会合

（Ⅳ）私たちは何を実現したいのか？
- （Ⅲ）の検討内容等をもとに、「目指したい姿の宣言文」を作成します

（Ⅴ）何が達成できていたらいいのか？
- （Ⅳ）で明らかにした目指したい姿は何が達成できたら実現できたといえるのかを指標として明らかにします

第4会合

（Ⅵ）私たちはどんな一歩を共に踏み出すのか？
- 目指したい姿の実現に向けて市民と行政がどのように共に取り組んでいくのかを「市民と行政のそれぞれの役割」として明らかにします

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

３．オープンな話し合いを行う

- 話し合いのルール
  - 全ての意見に価値を置く
  - 人の話をよく聴く
  - 想いや考えは全体で共有する
  - 時間厳守
  - 未来に焦点をあてる
- 自律的運営
  - 進行役
  - 時間管理役
  - 書記役
  - 報告者

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

未来づくり会議で探求を深めるプロセス

第1会合（全体会）

（０）私たちはこれまで何を話し合ってきたか？
- 未来フォーラムで話し合ってきた松戸市の全体像について確認し、今後の検討の前提とします

（Ⅰ）私たちはどんな考えや想いをもっているか？
- テーマについて、各参加者がどんな考えや想いをもって参加しているかを明らかにし、これからの話し合いのベースをつくります

第2会合

（Ⅱ）松戸市の強みや現状はどうなっているのか？
- 各政策に関する松戸市の強みと現状について、基本となるデータ等を紹介し、より深い理解をします

（Ⅲ）私たちは何に取り組まなければならないのか？何に取り組みたいのか？
- これまでの探求を踏まえたうえで、私たちが取り組まなければいけないこと、取り組みたいことについてのアイデアを出します

第3会合

（Ⅳ）私たちは何を実現したいのか？
- （Ⅲ）の検討内容等をもとに、「目指したい姿の宣言文」を作成します

（Ⅴ）何が達成できていたらいいのか？
- （Ⅳ）で明らかにした目指したい姿は何が達成できたら実現できたといえるのかを指標として明らかにします

第4会合

（Ⅵ）私たちはどんな一歩を共に踏み出すのか？
- 目指したい姿の実現に向けて市民と行政がどのように共に取り組んでいくのかを「市民と行政のそれぞれの役割」として明らかにします

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

これまでの話し合いの振り返り

- 別途資料参照

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

分科会長・副会長の互選、及び分科会スケジュール計画

□ 分科会長・副会長の互選

- 各分科会の中で、分科会長・副会長を互選してください
  - ▶分科会長・副会長は、最後の全体会で、それまで分科会で話し合われた内容を代表して発表していただきます

※分科会の中で特に権限を持ったり、進行役を務めたりしなければいけないということではありません

□ スケジュール計画

- 第２～４回の分科会のスケジュールを各分科会で検討してください
- １回あたりの所要時間は３時間程度です。場所は松戸市役所内会議室を中心に調整します
  - ▶第２回：８月下旬
    - 「テーマ・政策についての理解・探求促進」
  - ▶第３回：９月下旬
    - 「目指したい姿の宣言文」の検討
  - ▶第４回：10月中旬
    - 「指標」「市民と行政それぞれの役割」の検討

※複数の人々が集まっていますので、委員全員が揃う日程を確保するのは難しいかもしれません。できるだけ多くの方が参加できるような日程を調整ください

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

松戸市に関する情報提供
基礎編

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

松戸市に関する情報提供　基礎編

□目的

- 分科会の中で各政策について検討を進めるにあたって、後期基本計画の位置づけと松戸市の基本となる状況の理解を深め、確認する

□進め方

- 情報提供（政策調整課より）

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

分科会内検討

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

未来づくり会議で探求を深めるプロセス

第1会合（全体会）

（０）私たちはこれまで何を話し合ってきたか？
- 未来フォーラムで話し合ってきた松戸市の全体像について確認し、今後の検討の前提とします

（Ⅰ）私たちはどんな考えや想いをもっているか？
- テーマについて、各参加者がどんな考えや想いをもって参加しているかを明らかにし、これからの話し合いのベースをつくります

第2会合

（Ⅱ）松戸市の強みや現状はどうなっているのか？
- 各政策に関する松戸市の強みと現状について、基本となるデータ等を紹介し、より深い理解をします

（Ⅲ）私たちは何に取り組まなければならないのか？何に取り組みたいのか？
- これまでの探求を踏まえたうえで、私たちが取り組まなければいけないこと、取り組みたいことについてのアイデアを出します

第3会合

（Ⅳ）私たちは何を実現したいのか？
- （Ⅲ）の検討内容等をもとに、「目指したい姿の宣言文」を作成します

（Ⅴ）何が達成できていたらいいのか？
- （Ⅳ）で明らかにした目指したい姿は何が達成できたら実現できたといえるのかを指標として明らかにします

第4会合

（Ⅵ）私たちはどんな一歩を共に踏み出すのか？
- 目指したい姿の実現に向けて市民と行政がどのように共に取り組んでいくのかを「市民と行政のそれぞれの役割」として明らかにします

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

テーマについての想い・課題意識の共有

- 目的
  - テーマについて、各参加者がどんな想いや課題意識をもって参加しているかを全体で共有し、政策ごとに整理することで、これからの話し合いのベースをつくる
- 進め方
  - 自分がこの分科会に参加するにあたっての想いや課題意識を個人でポストイットに記入します（背景に、こんな事実がある、こんな体験があるといった具体的なものがあれば、それも併せてお書きいただければと思います）
  - またそれに対して、こういうことが実現できればという具体的な期待があれば記入します
    - ▶ 検討する際には、必要あれば未来フォーラムで話し合われたコンテンツなども参照してください
  - 記入したものを読み上げながらグループ内で発表します
  - 全員の共有が済んだら、右図の表のように、ポストイットを分科会の政策ごとに整理します
    - ▶ 明確に切り分けられなくてもかまいません
    - ▶ どこにも当てはまらないと感じたら、その他に入れてください
  - ポストイットを眺めながら、自分たちがどんなところに強い想いや課題意識を持っているかなどについて、自由に対話を行います
  - 終了後、各分科会で話し合われた内容を全体で発表します

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

テーマについての想い・課題意識の共有（政策ごとに整理）

政策	想い・課題意識	具体的な期待
03・・・	… … …	… …
04・・・	… …	…
05・・・		
06・・・	… … … …	… …
その他	… …	

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

次回（第２回分科会）に向けて・・・

- 第２回分科会では、松戸市の強みや現状について理解・探求を深めながら、各政策に関する重要なキーワードを明らかにしていきます
- 具体的には、本日話し合われた内容に加えて、「松戸の強みと弱みを考えるデータ集」を参照しながら、話し合い、探求を深めていきます
- そこで、第２回に向けて、「松戸の強みと弱みを考えるデータ集」の中で自分が担当する分科会の政策について目を通してきていただければと思います

Copyrights © 2009 HUMAN VALUE Inc. All Rights Reserved

松戸市に関する情報提供

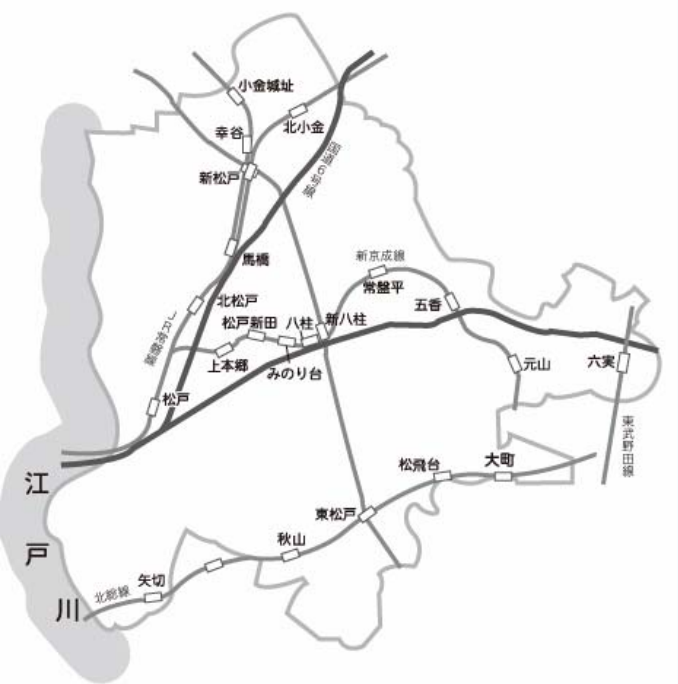
～基礎編～

イマジンまつど
～私たちの明るい未来をつくる～

平成21年8月7日
松戸市　総務企画本部　政策調整課

プロフィール

- 松戸市の位置
  - 松戸市は、千葉県北西部に位置し、北側は柏市・流山市に、南側は市川市に、東側は鎌ケ谷市に、西側は江戸川を挟んで東京都葛飾区・埼玉県三郷市に隣接しています。
- 松戸市の交通
  - 松戸市は都心から約20km、電車で約30分の距離にあり、首都圏の住宅都市として発展を続けています。
  - 市内をJR常磐線（営団地下鉄千代田線と相互乗り入れ）、JR武蔵野線、新京成電鉄、東武電鉄、総武流山電鉄、北総開発鉄道の6本の鉄道が走り市民の足となっています。
  - また、市のほぼ中心部を国道6号とJR常磐線が並びながら縦断し、都心と常磐・東北方面を結ぶ主要幹線道路となっています。



- 地名の由来
  - 平安時代、松戸は下総（しもうさ）国の国府（市川市国府台）から常陸（ひたち）国の国府（茨城県石岡市）、武蔵（むさし）国の国府（東京都府中市）へ通じる分岐点で、交通の要衝でした。
  - 太日河（ふとひがわ・現在の江戸川）の津（渡し場）でもあったことから、「馬津（うまつ）」とか「馬津郷（うまつさと）」と呼ばれていたといいます。それが「まつさと」になりやがて「まつど」になったのが松戸の地名の起こりだといわれています。

1　松戸の歩み
（1）昭和初期～20年代

- 昭和初期
  - 昭和2年、老朽化の激しかった葛飾橋が鉄橋に架け替えられました。道路の整備も進み、松戸－市川、松戸－金町、松戸－流山を結ぶバス路線が次々に開設され、人々の新たな足となりました。
  - 昭和11年には、常磐線の上野－松戸間が電化され、上野と松戸は23分ほどで結ばれました。

- ～松戸市の誕生～
  - 昭和8年には松戸町と明村が、さらに昭和13年には松戸町と八柱村が合併しました。市制施行への機運か高まり、昭和18年4月1日、松戸町と馬橋村、高木村が合併し、県下7番目の市として「松戸市」が誕生しました。当時の人口は、40,433人でした。

- 昭和20年代
  - 終戦後の食料・衣料などの日常生活物資の不足からくる全国的なインフレ、また政治・社会体制の大きな変革の中で、誕生間もない松戸市の都市づくりは始まりました。
  - 6・3制の新しい教育制度が発足し、中学校が次々に開校しました。
  - 昭和24年には常磐線が取手まで電化され、昭和27年には競輪開催中の臨時駅として北松戸駅が開設されました（競輪場は昭和25年の開設）
  - 戦後の混乱期もようやく抜け出した昭和29年、小金町と合併。人口も66,709人となり、その後の発展への足掛かりとなりました。

1　松戸の歩み
（2）昭和30年代～60年代

- 昭和30年代
  - 昭和30年4月、新京成電鉄松戸－津田沼間（26.2キロメートル）が開通しました。
  - 同年11月、日本住宅公団が金ケ作（かねがさく）地区に大規模な住宅団地の造成計画を発表。常盤平団地と名称も決まり、入居が始まったのは昭和35年4月でした。
  - このころから松戸市は、人口急増の時代を迎えます。
  - 新国道6号線の工事も始まり、松戸バイパスが昭和36年に開通しました。
  - また、昭和35年には、北松戸と稔台に、昭和37年には松飛台に工業団地の造成が始まりました。

- 昭和40年代
  - 小金原団地が造成されるなど、昭和40年代に入っても人口急増が続き、昭和43年には20万人、昭和48年には30万人を突破するという勢いでした。市では、学校建設、道路整備、環境衛生施設の整備などの対応に追われました。
  - すぐやる課が誕生したのは、昭和44年。それまでの役所のイメージを変えるものとして注目され、松戸市の名が全国的に有名になりました。
  - 昭和46年、オーストラリアのボックス・ヒル市（現ホワイトホース市）と姉妹都市提携し、交流が始まりました。
  - 同年、常磐線が複々線化し、営団地下鉄千代田線と相互乗り入れ開始。また、昭和48年には武蔵野線新松戸－府中本町間が開通するなど交通網も充実しました。

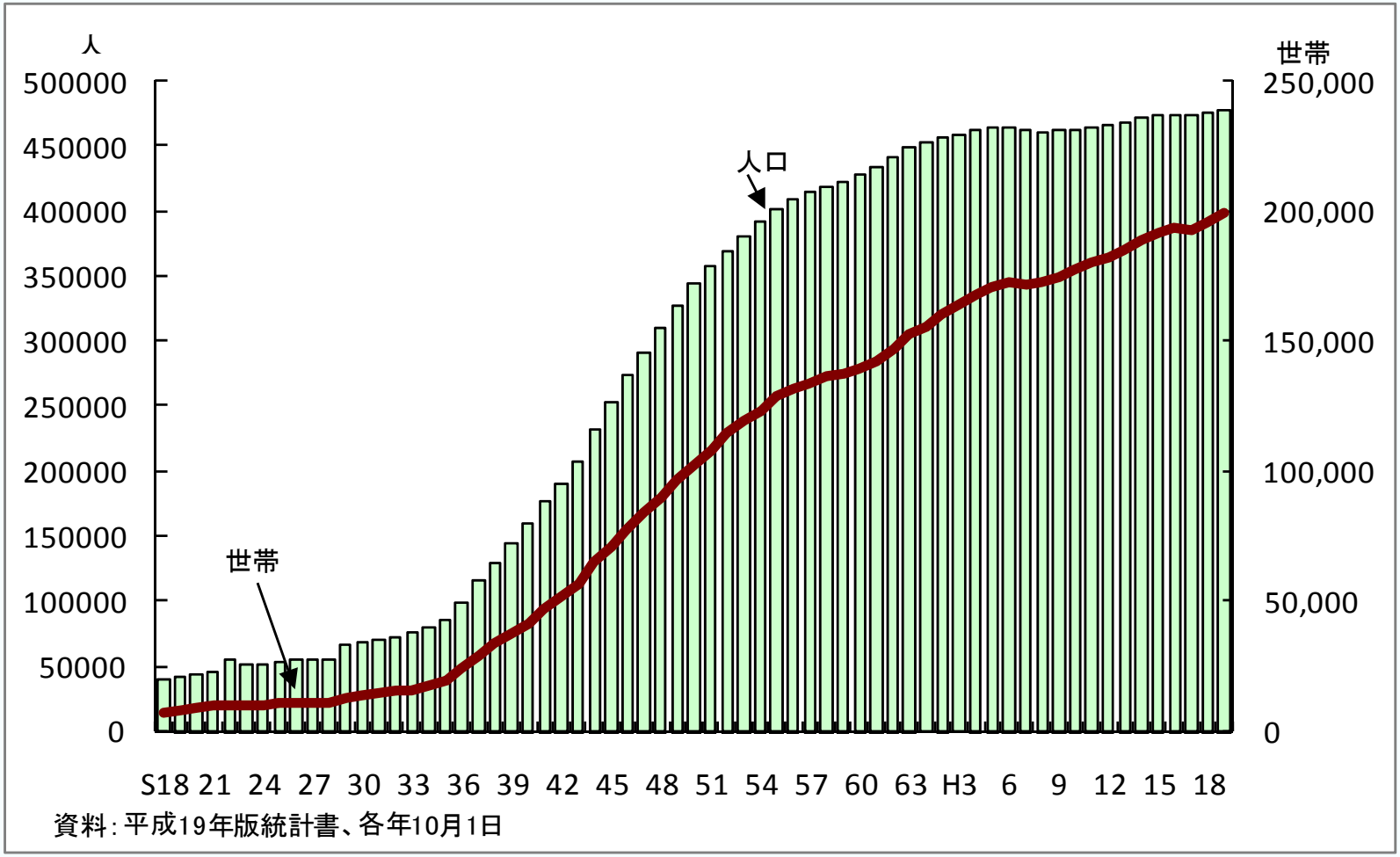
- 昭和50・60年代
  - 昭和50年代に入ると、ようやく人口の増加も落ち着き始めました。
  - 激しかった人口急増の歪みを是正するため、計画的な都市づくりが推進され、小・中学校のプレハブ教室の解消、排水路の整備、市民センター・クリーンセンターの建設、松戸駅周辺の整備などが行われ、着々と近代都市へと変貌を遂げていきました。
  - 人口も45万人を超え、首都圏有数の都市として発展を続けています

1　松戸の歩み
（3）平成

- 戸定が丘歴史公園を一般公開（平成3年）
- 21世紀の森と広場がオープン（平成5年）
- 市立博物館がオープン（平成5年）
- 森のホール21がオープン（平成5年）
- 和名ケ谷クリーンセンターがオープン（平成7年）
- 健康福祉会館（ふれあい22）がオープン（平成11年）
- 市の木・花・鳥を制定（平成14年）
- 「松戸みどりの市民憲章」を制定（平成16年）
- ケニアの環境副大臣・ワンガリ・マータイさんが、新松戸南小学校に来校（平成18年）
- 松戸市シニア交流センターがオープン　（平成18年）
- 根木内歴史公園が開園（平成18年）
- 戸定邸が国の重要文化財に指定（平成18年）
- ゆいの花公園が開園（平成19年）

2　松戸市の人口
（1）人口と世帯数の推移

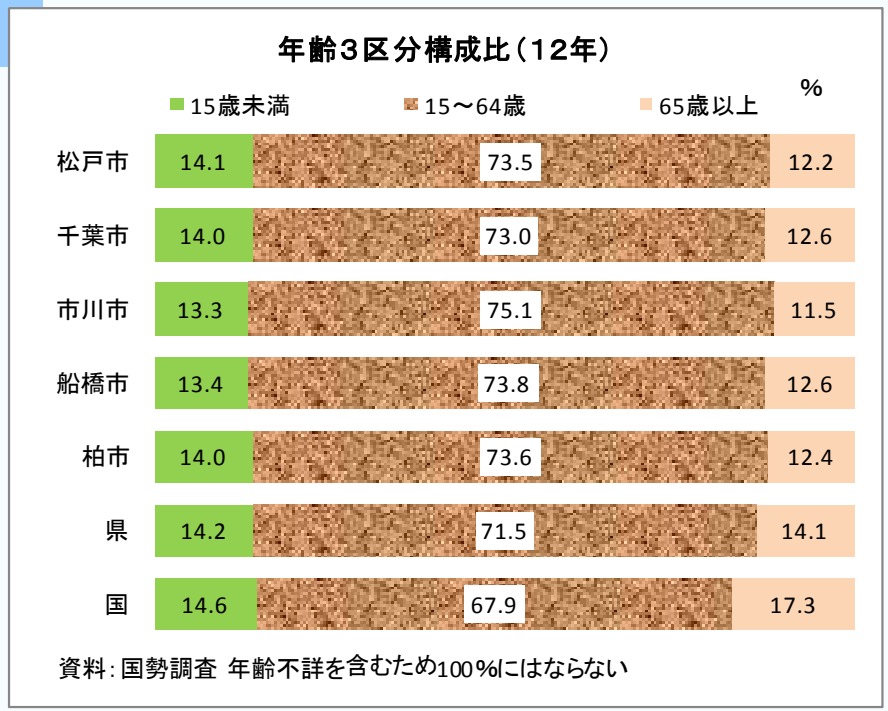
- 松戸市の人口は、平成19年（2007年）10月1日現在で476,792人となっています（千葉県常住人口調査）。昭和30年代から40年代にかけて大きく増加し、昭和55年（1980年）に40万人を突破しました。平成元年（1989年）に45万人を超え、一時減少したが、その後はわずかながらも増加を続けています。県内の人口規模が類似する船橋市、市川市と同様の増加パターンとなっています。



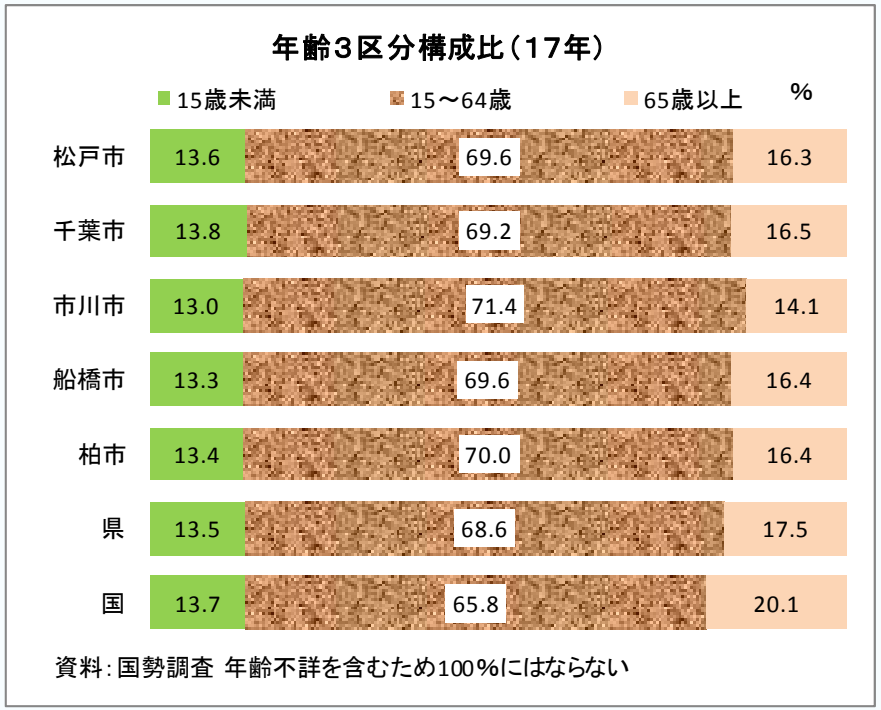
- 平成21年7月1日現在常住人口　484,102人

2　松戸市の人口
（2）年齢3区分構成比の推移

- 高齢化率（65歳以上人口/総人口）は平成12年（2000年）の12.2%から17年（2005年）には16.3%となり4.1ポイントの上昇となっています。県全体よりはやや低く、県内類似都市と同水準にあります。



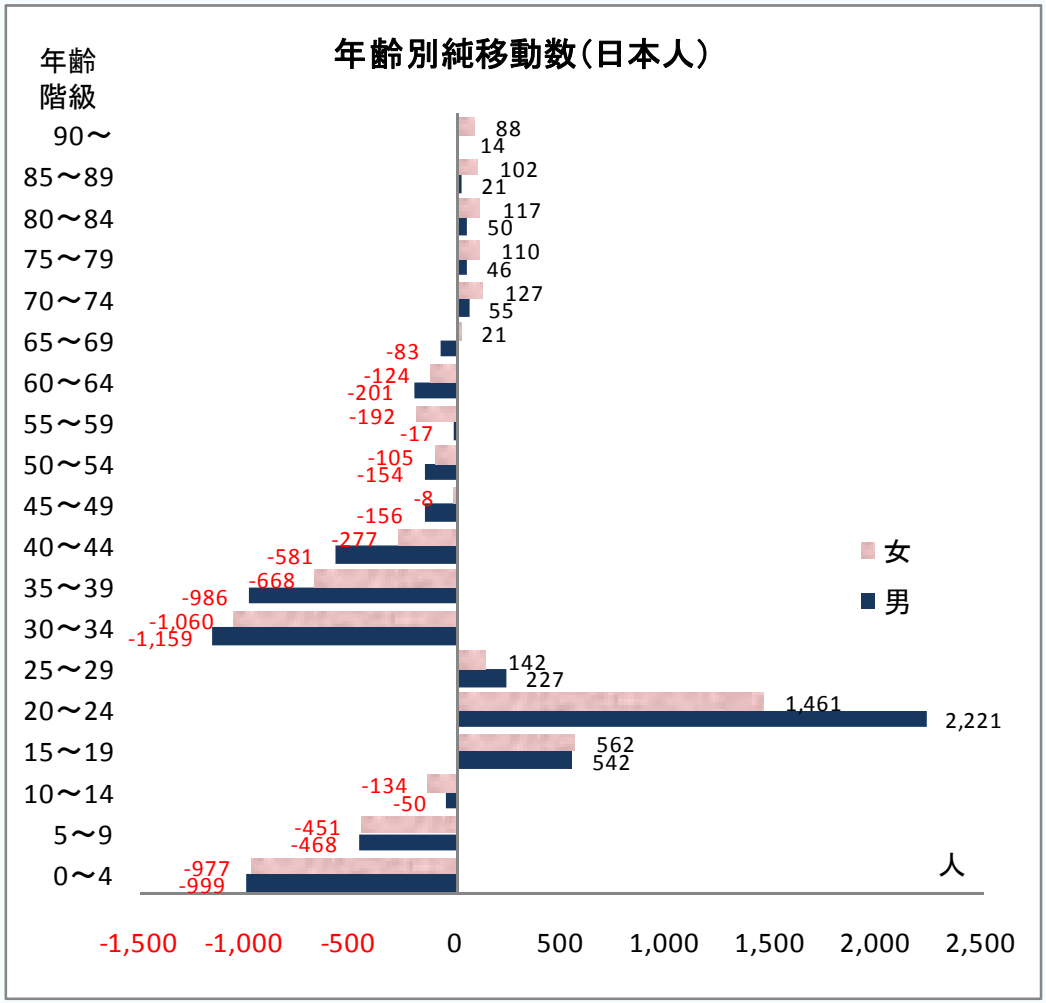
資料：国勢調査 年齢不詳を含むため100%にはならない

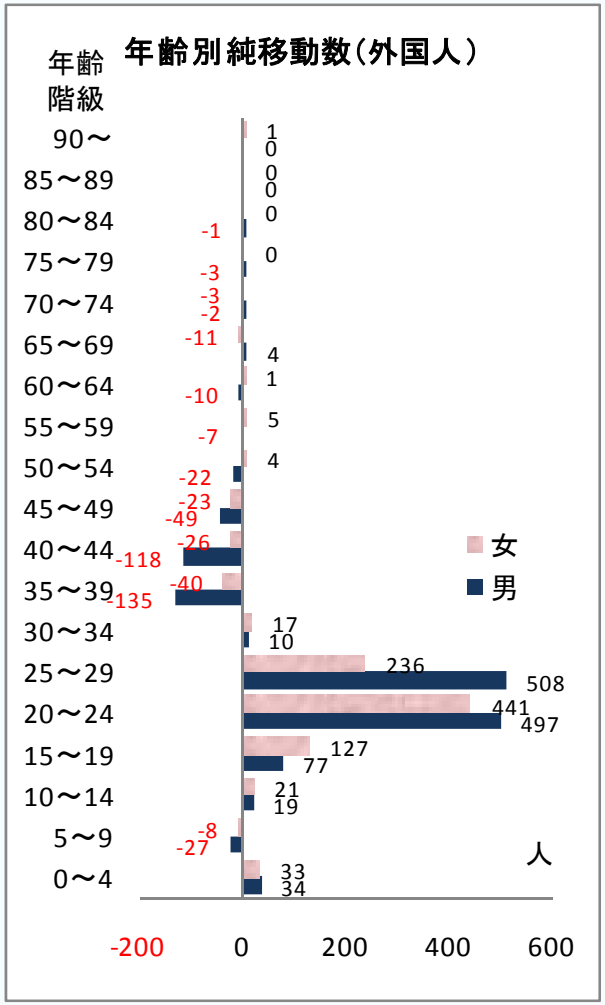


資料：国勢調査 年齢不詳を含むため100%にはならない

2　松戸市の人口
（3）年齢別純移動数（平成15年～19年合計）

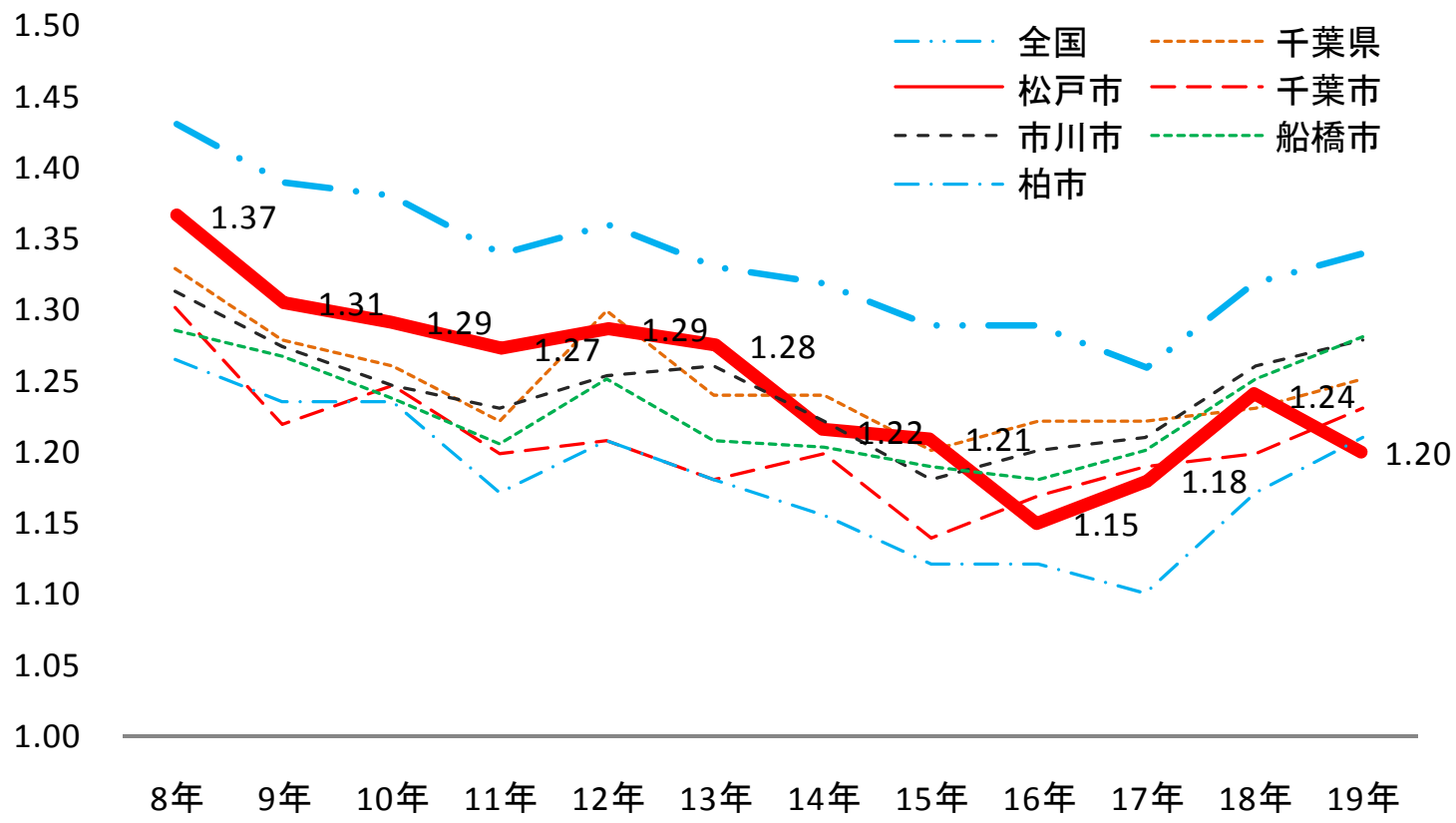
- 過去5年間の社会増加数を年齢別にみると、日本人では男女とも15～29歳の若い世代の流入が大きく、逆に0～9歳、30～44歳では流出超過となっています（住民基本台帳、外国人登録による）





2　松戸市の人口
（4）合計特殊出生率の推移

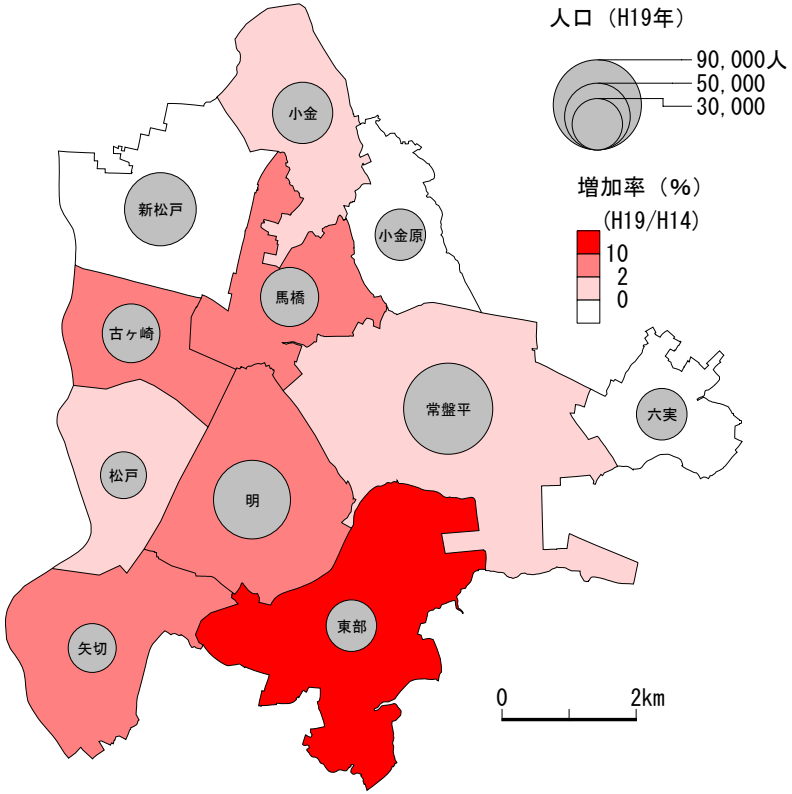
- 松戸市の合計特殊出生率は、平成8年（1996年）の1.37から低下傾向にあり、平成19年（2007年）では1.20となっています。県や類似都市と比較すると、高位にあったものが、平成19年（2007年）では最下位となっています。本市を除くと、平成17年（2005年）からは回復傾向を示しています。



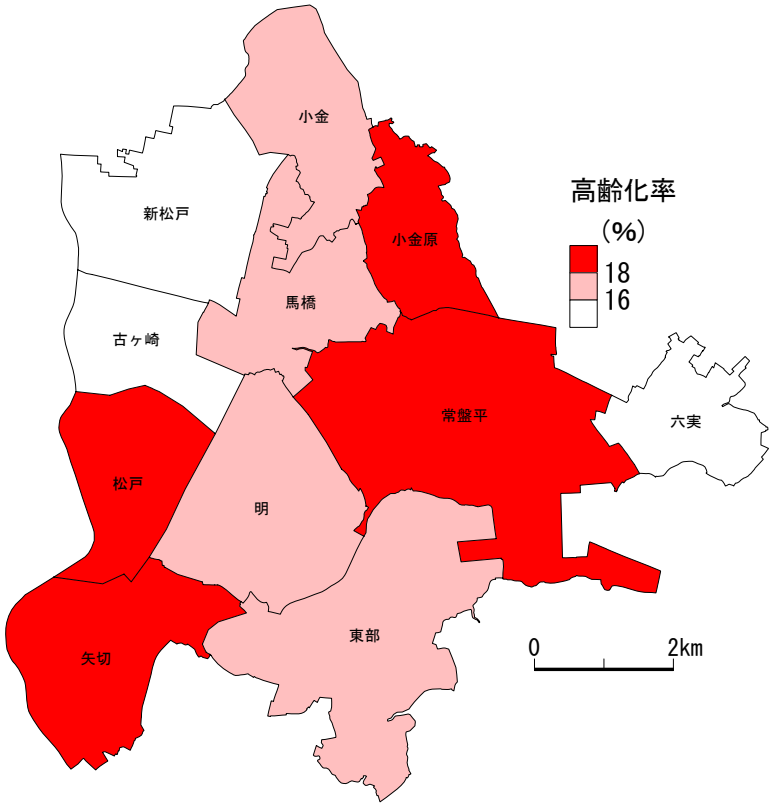
資料：千葉県健康福祉部健康福祉指導課

2　松戸市の人口
（5）地域別人口と増加率、高齢化率

- 平成15年（2003年）から19年（2007年）にかけて大半の地域で人口は増加しており、特に東部地域の増加が大きくなっています。新松戸地域、小金原地域、六実地域では減少を記録しています。
- 高齢化率（65歳以上人口/総人口）をみると、平成19年（2007年）で小金原地域が最も高く23.5％（市平均17.6％）となっており、松戸地域、常盤平地域、矢切地域で19％を超えています。最も低いのは新松戸地域（15.1％）です（住民基本台帳、外国人登録による）。



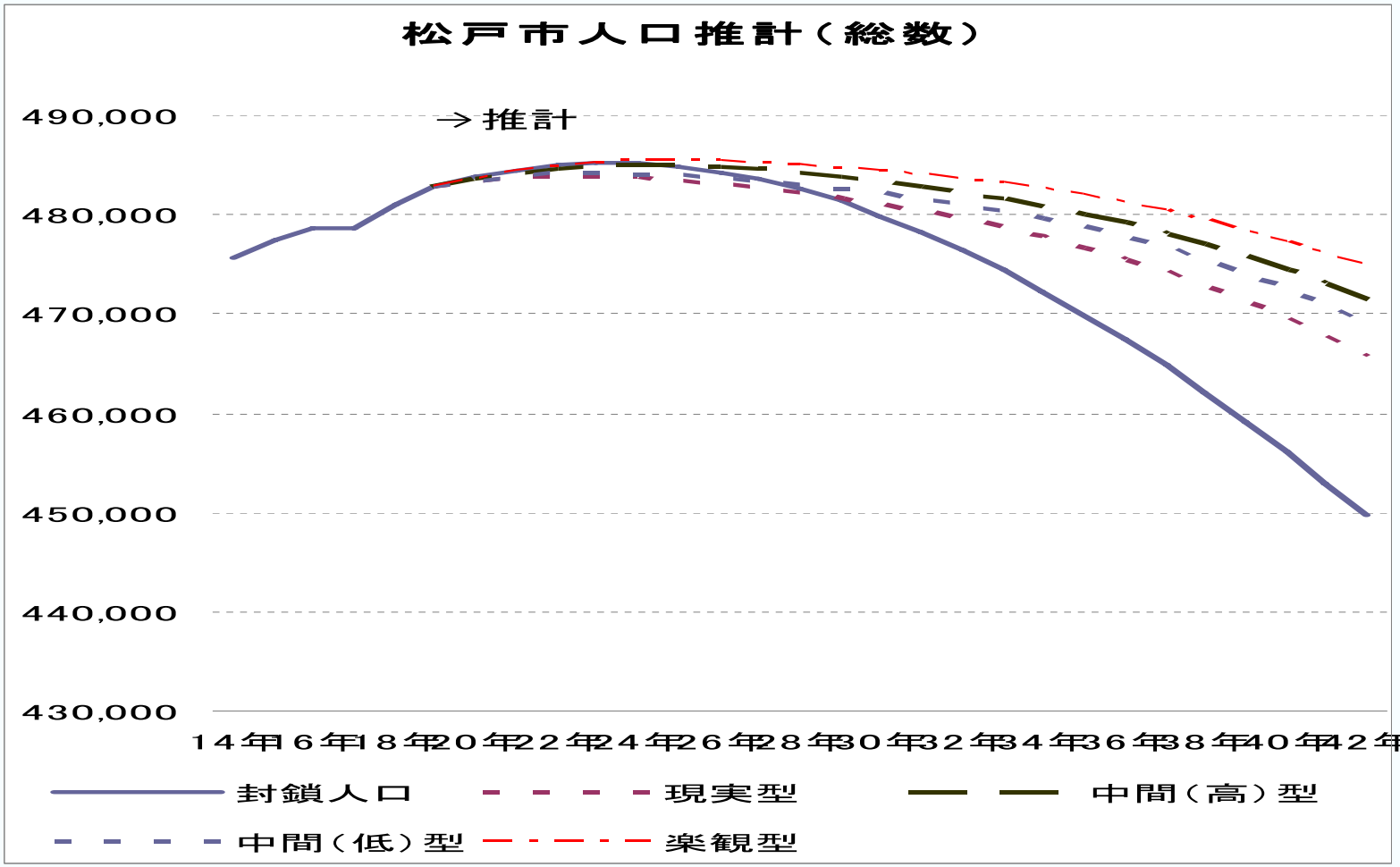
地域別人口と増加率



地域別高齢化率

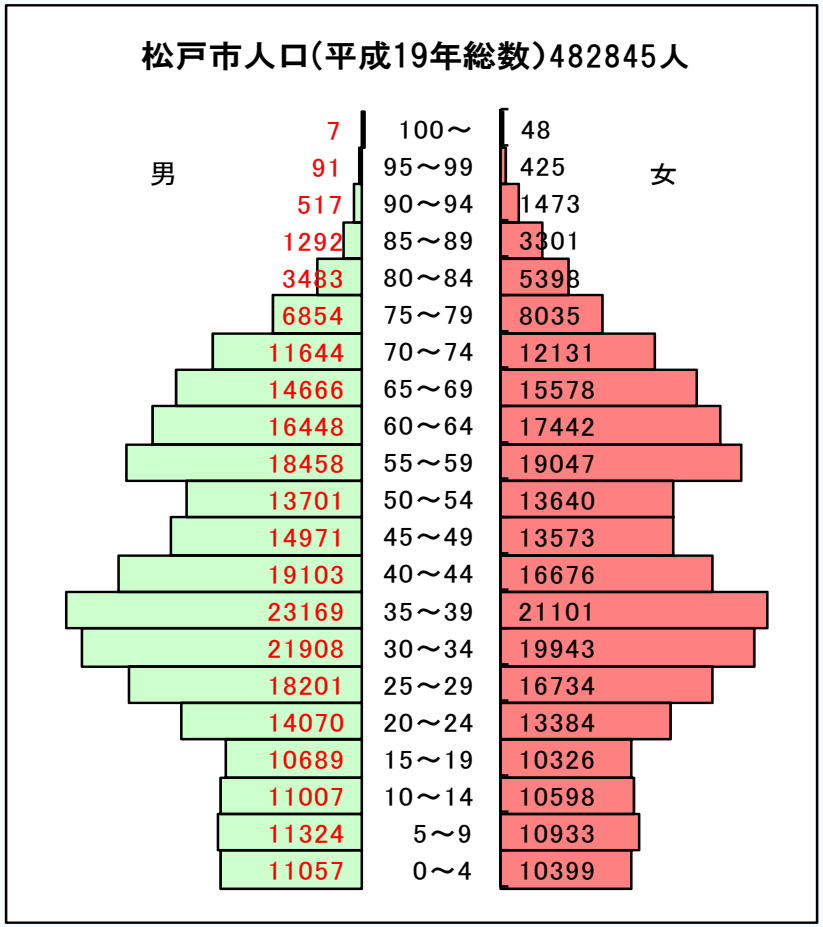
2　松戸市の人口
（6）人口推計

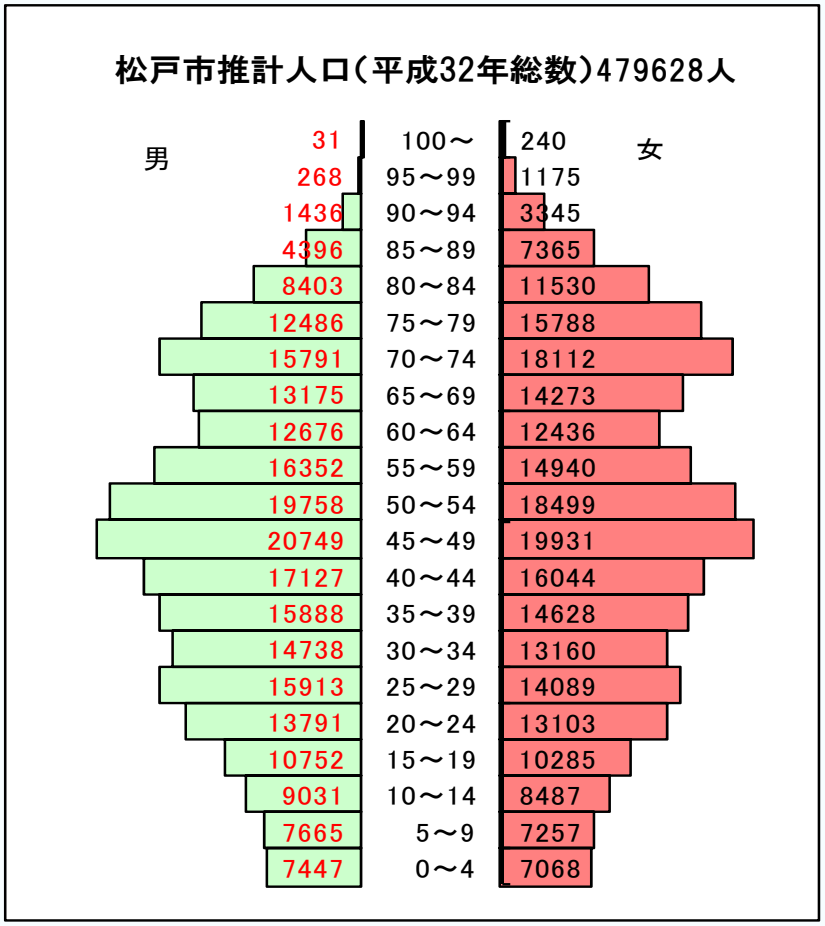
- 総数は、平成32年（2020年）において最大で楽観型の場合が約484,000人、最小で現実型の場合が約480,000人となった。基準年の平成19年（2007年）の約483,000人と大きく変わらない結果となりました。
- 年少人口比率（0～14歳人口／総人口）は、現在の13.5％から平成32年（2020年）には10％程度に低下し、高齢化率（65歳以上人口／総人口）は、現在の17.6％から約9ポイント上昇し27％程度になる見込みです。



2　松戸市の人口
（7）人口推計＝人口ピラミッド（総数－現実型）

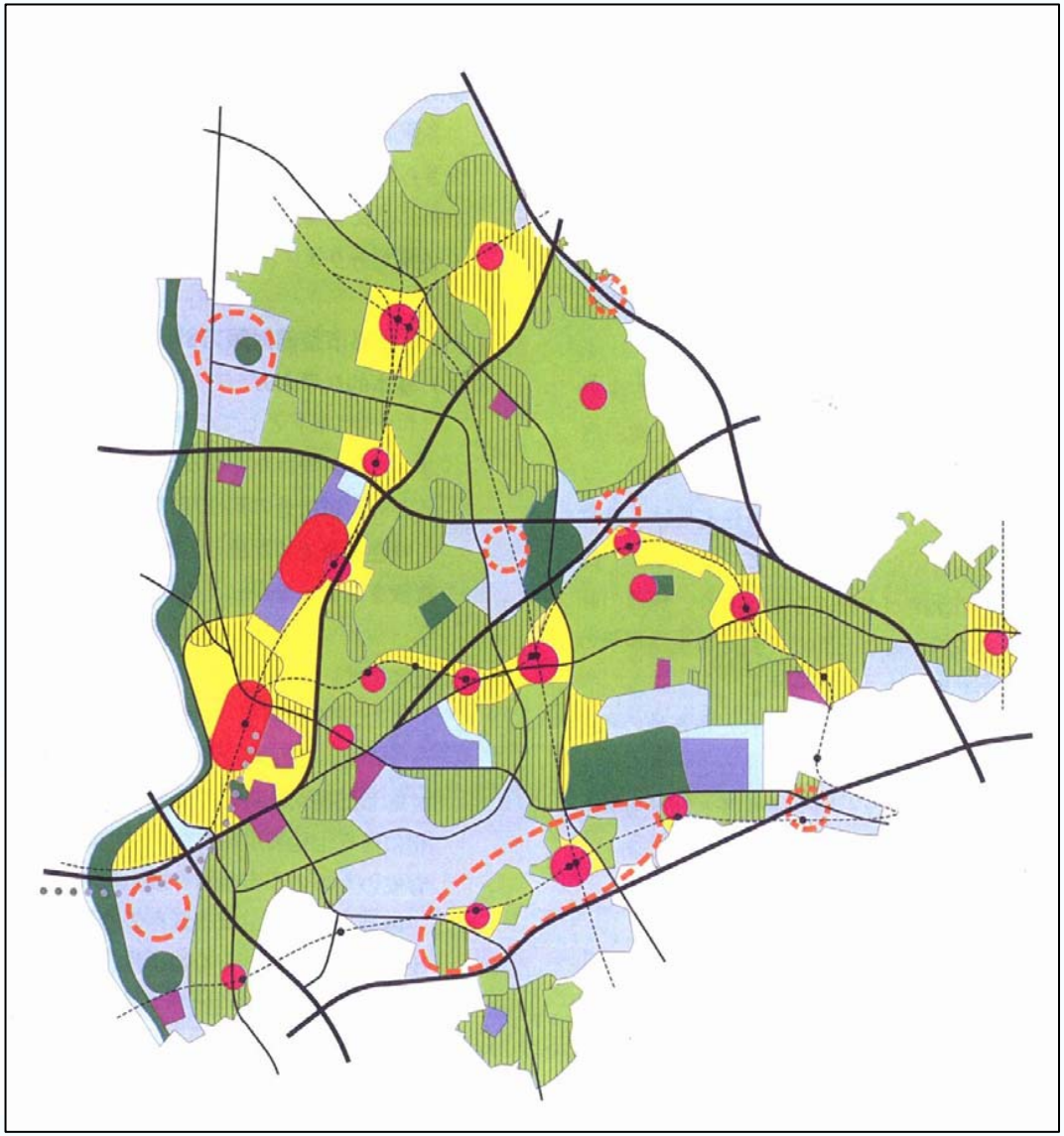
- 総数の現実型（推計１及び推計５）の場合の人口ピラミッドである。平成19年（2007年）では団塊と団塊ジュニアの世代である35～39歳と55～59歳に2つの山がある。平成32年（2020年）と比べると、人口総数はほとんど変わらないが、山が50歳前後と70歳代前半に移行するとともに、0～9歳の減少が目立ち、少子化が進行することになる。





3　土地利用の状況（用途の配置）

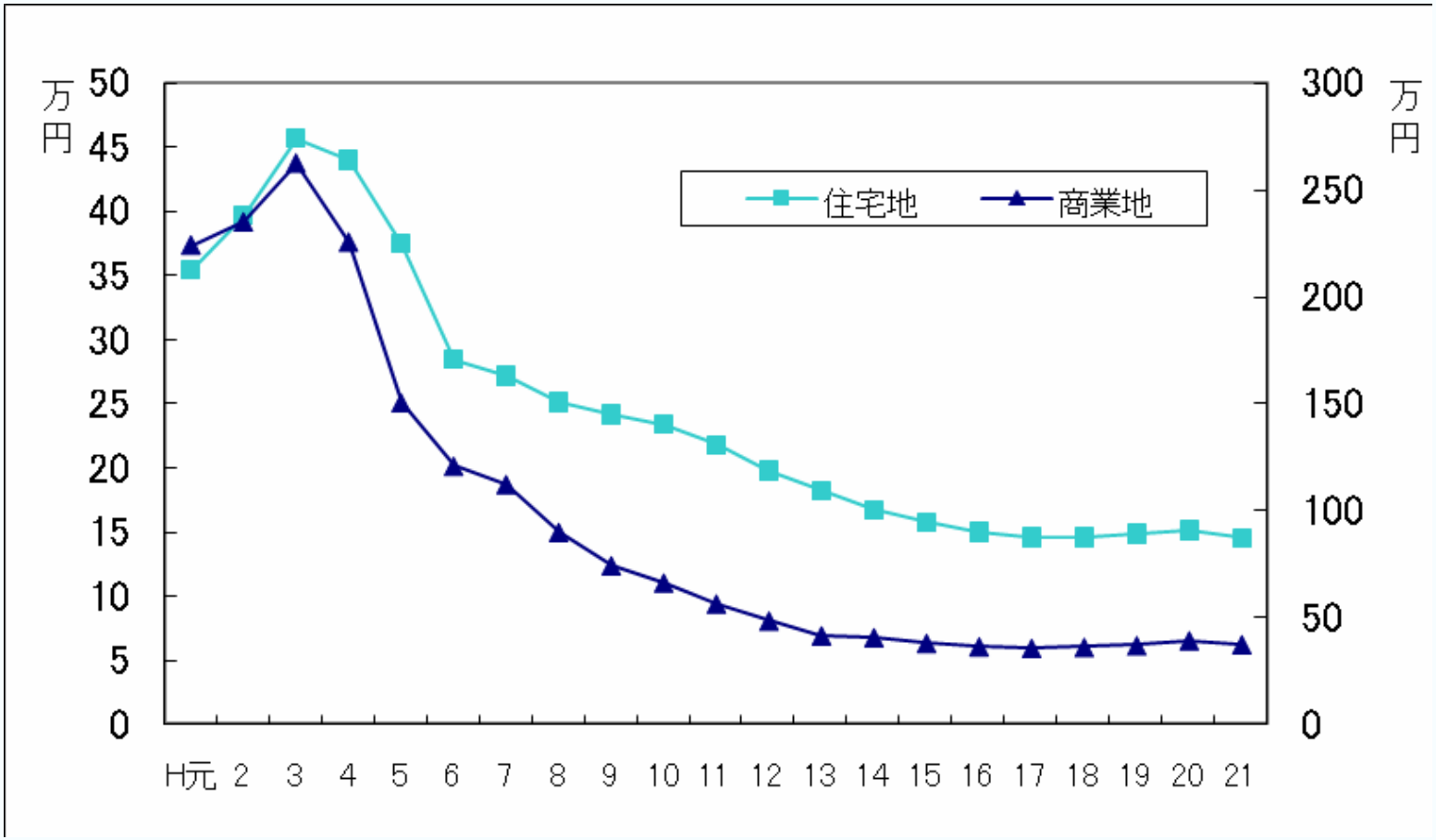
- 本市の大部分は住宅地が占めていますが、東部地域を中心にかなり大規模な農地も残っています。また、主として駅中心部に商業地が発展し、3ヶ所ある工業団地は県内でも有数の規模があります。



- 専用住宅地（保全型）
- 専用住宅地（基盤改善型）
- 一般住宅地（保全型）
- 一般住宅地（基盤改善型）
- 住工共存地
- 中心商業・業務地
- 商業地
- 工業地
- 大規模な公共施設など
- 大規模公園・緑地
- 農地など
- 土地利用を検討するゾーン

4　地価公示平均価格の推移

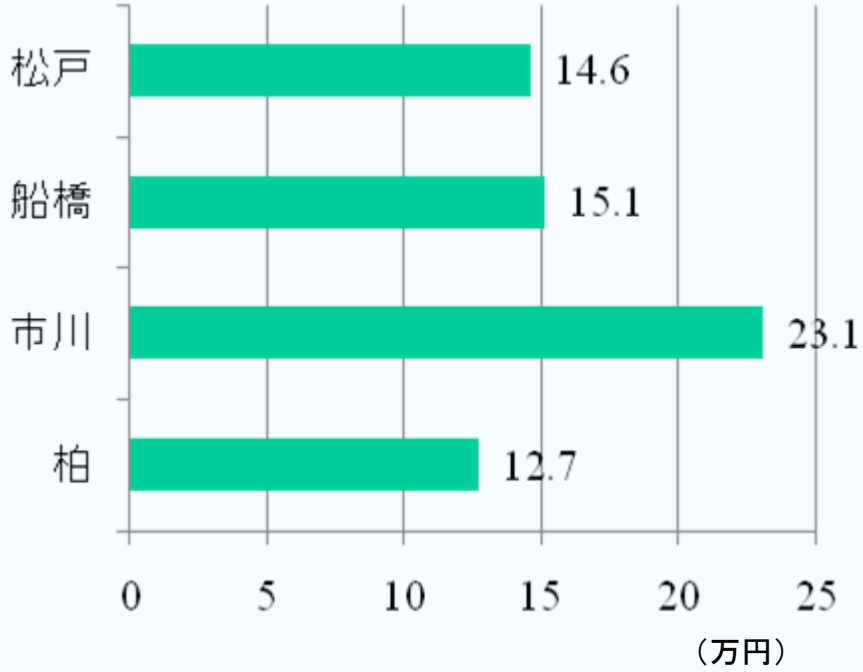
- 地価の変化は平成3～4年にピークを迎え、その後低落傾向であり、現在は下げ止まりから上昇に転じつつありましたが、平成21年度には、再度低落しています。



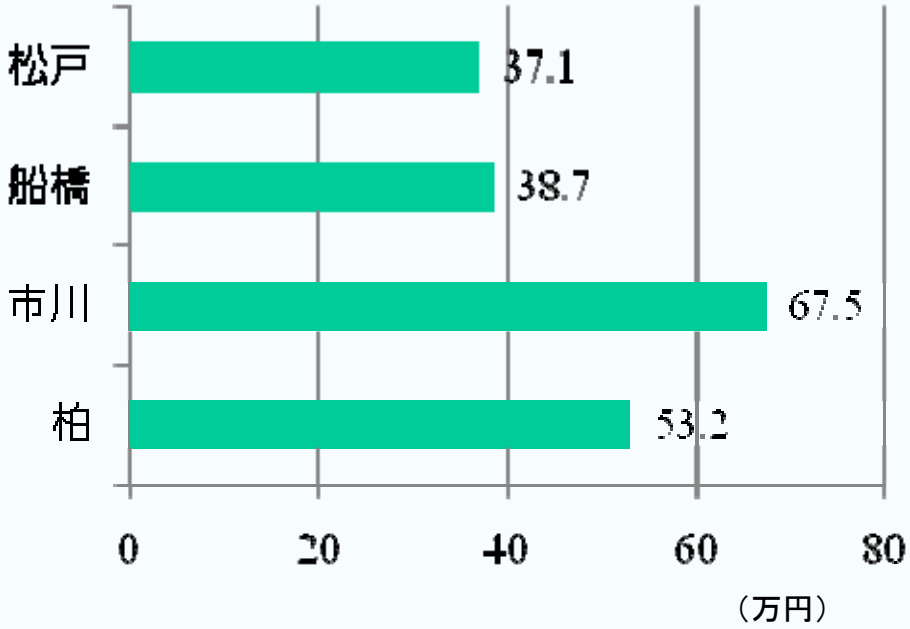
5　住宅地・商業地の平均価格の4市比較

- 住宅地・商業地の平成21年度平均価格を比較すると、本市は船橋とほぼ同額で市川より低く、柏より住宅地は高いが商業地は低いことがわかります。

●住宅地平均価格の4市比較（平成21年度）

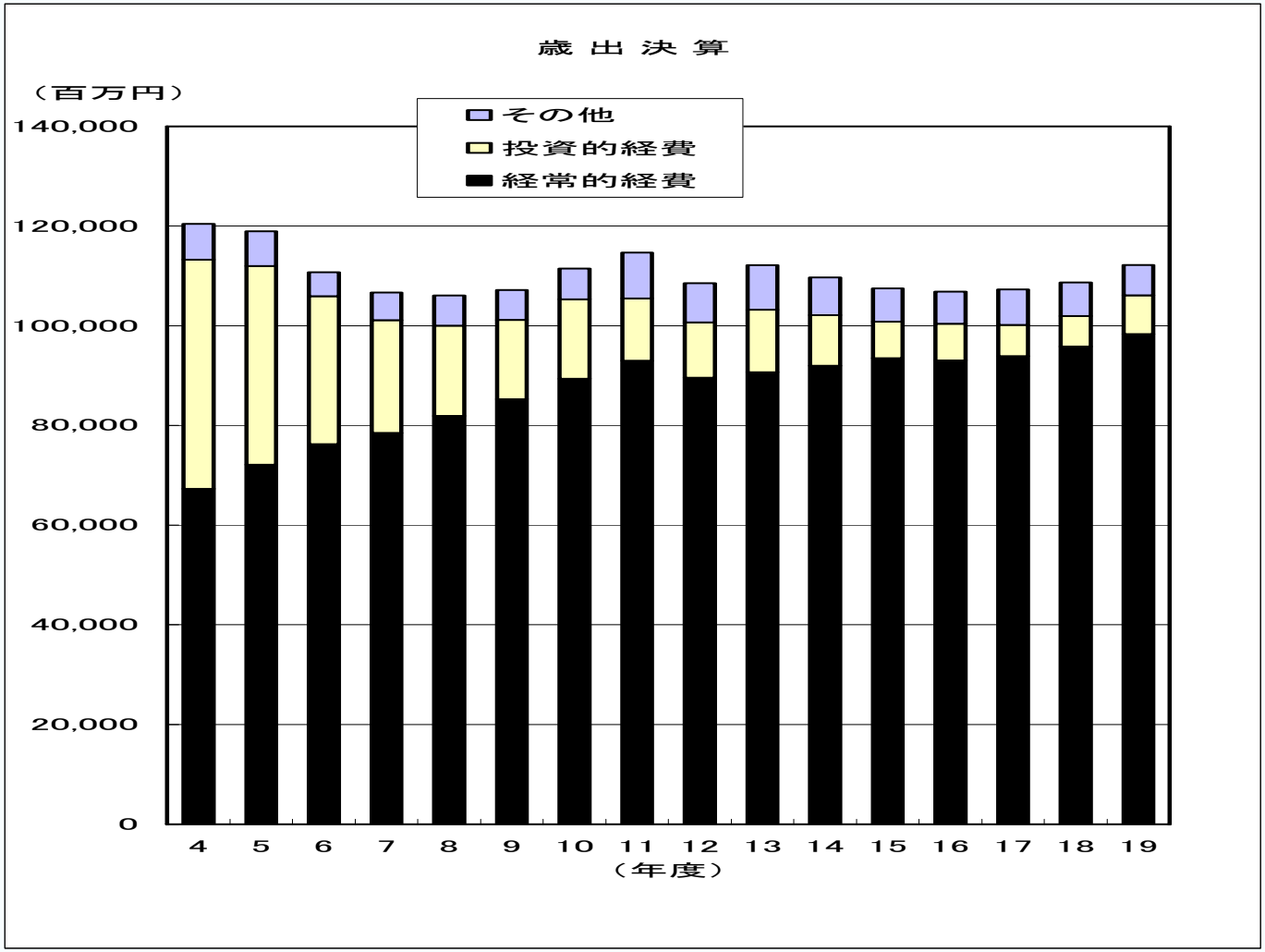


●商業地平均価格の4市比較（平成21年度）



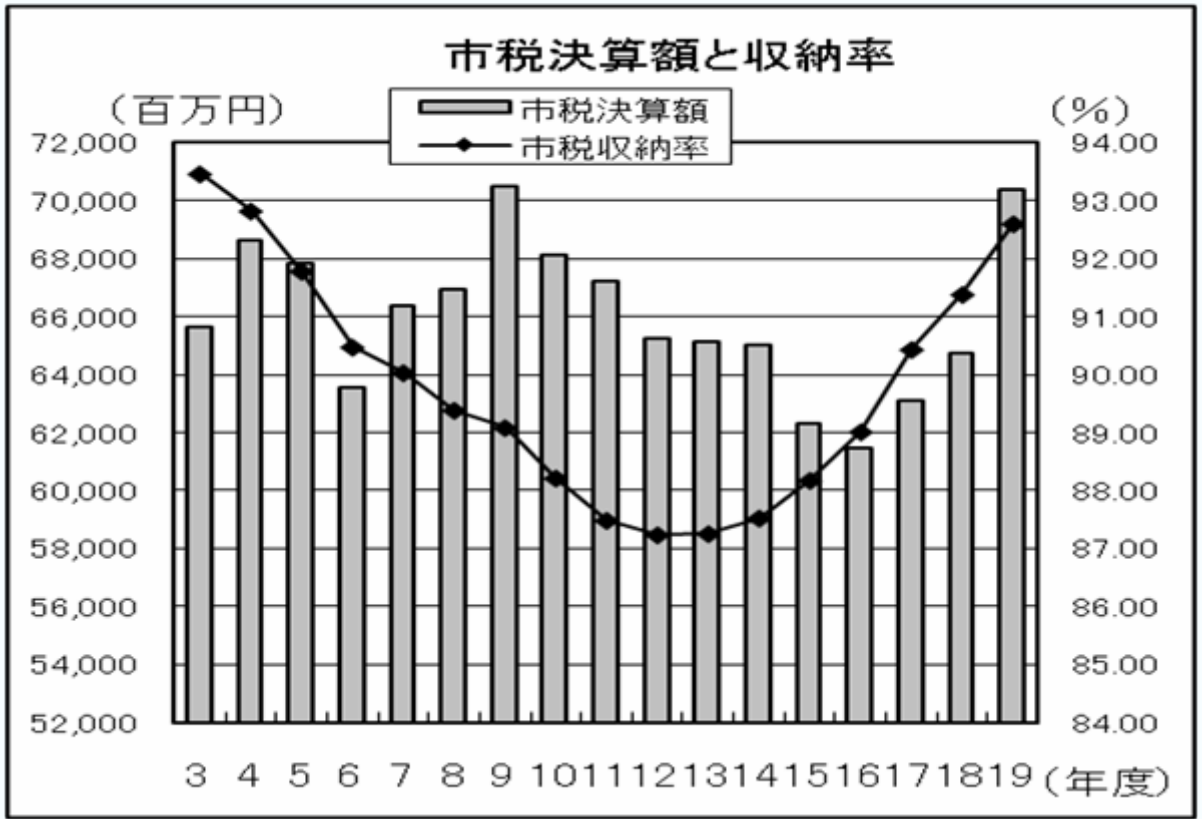
6 財政の状況
（1）歳出決算の推移

- 19年度の歳出決算額は、前年度の 1,087億円に比べて35億円増の、1,122億円となり、ピーク時の平成4年度の1,204億円と比べ93％の規模となっております。
- 決算の特徴は、歳出では経常的経費が確実に増加傾向となっており、平成10年度から歳出決算総額の8割以上を占める構成となっています。一方で、投資的経費は、ピーク時の平成4年度の 460億円と比べると、平成19年度は 78億円で17％程度の規模に縮小しています。



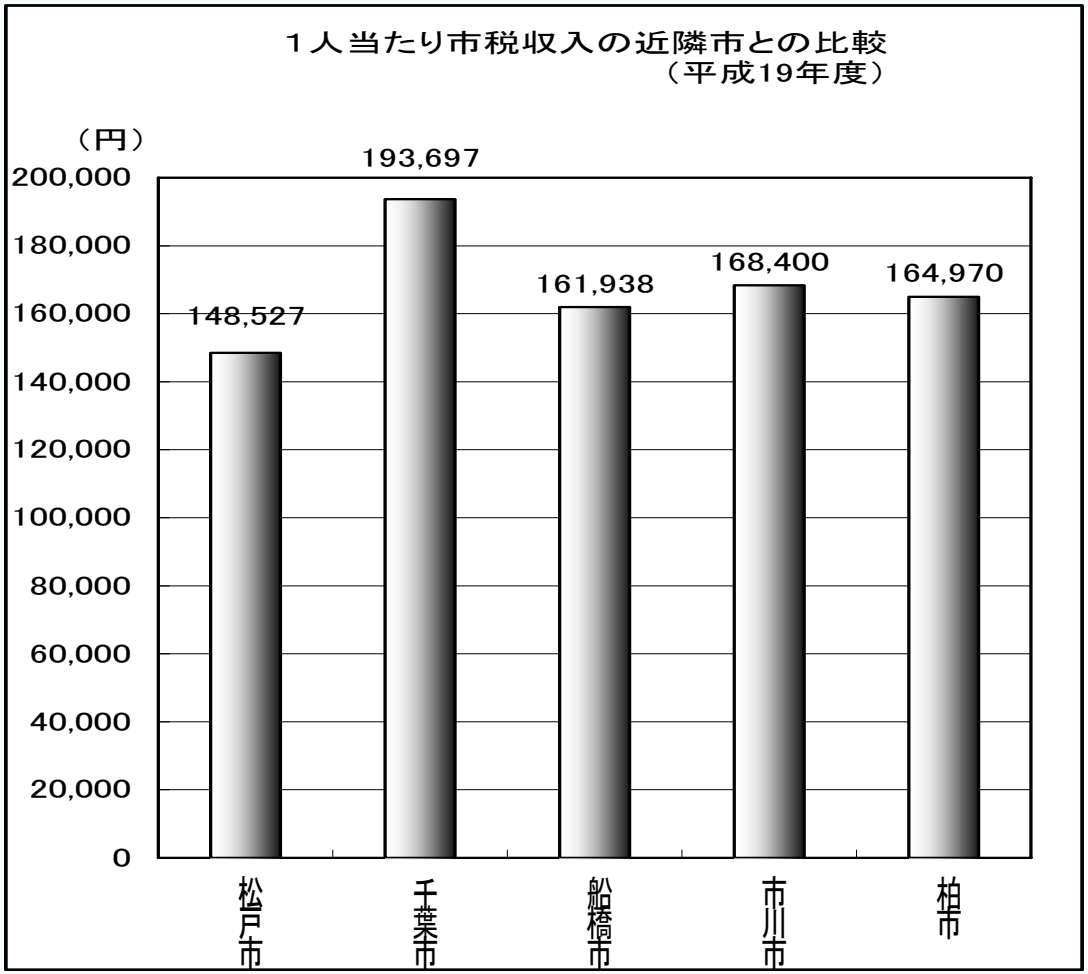
6　財政の状況
（2）市税決算と収納率

- 市税収入の決算額は、平成5年度に市制施行以来はじめて対前年度決算額を 1.1％下回り、続く平成6年度も市民税特別減税などの影響を受けて約43億円6.3％の大幅な減収となりました。
- 平成9年度は、地方消費税の導入に伴う市民税減税が行われなかったため増額になっていますが、平成10年度は経済対策の一環とした市民税特別減税、平成11年度からは恒久的減税が実施され、7年連続で対前年度決算額を下回りました。
- 平成19年度は、定率減税縮減等の税制改正や収納率の回復などにより、前年度に比し、約57億円8.7％の増収となる704億円（歳入決算総額の60.4％の割合）を確保しました。
- 収納率については、昭和54年度の96.7％が最高値で、その後は低下傾向となり、平成8年度からは長引く景気の低迷を反映するように90％を下回る状況となりました。
- 平成13年度から収納率は上昇に転じ、平成19年度の収納率は92.60％（現年度分97.97％、過年度分21.90％）で、前年度の91.38％（現年度分98.13％、過年度分17.83％）より1.22ポイント向上しています。



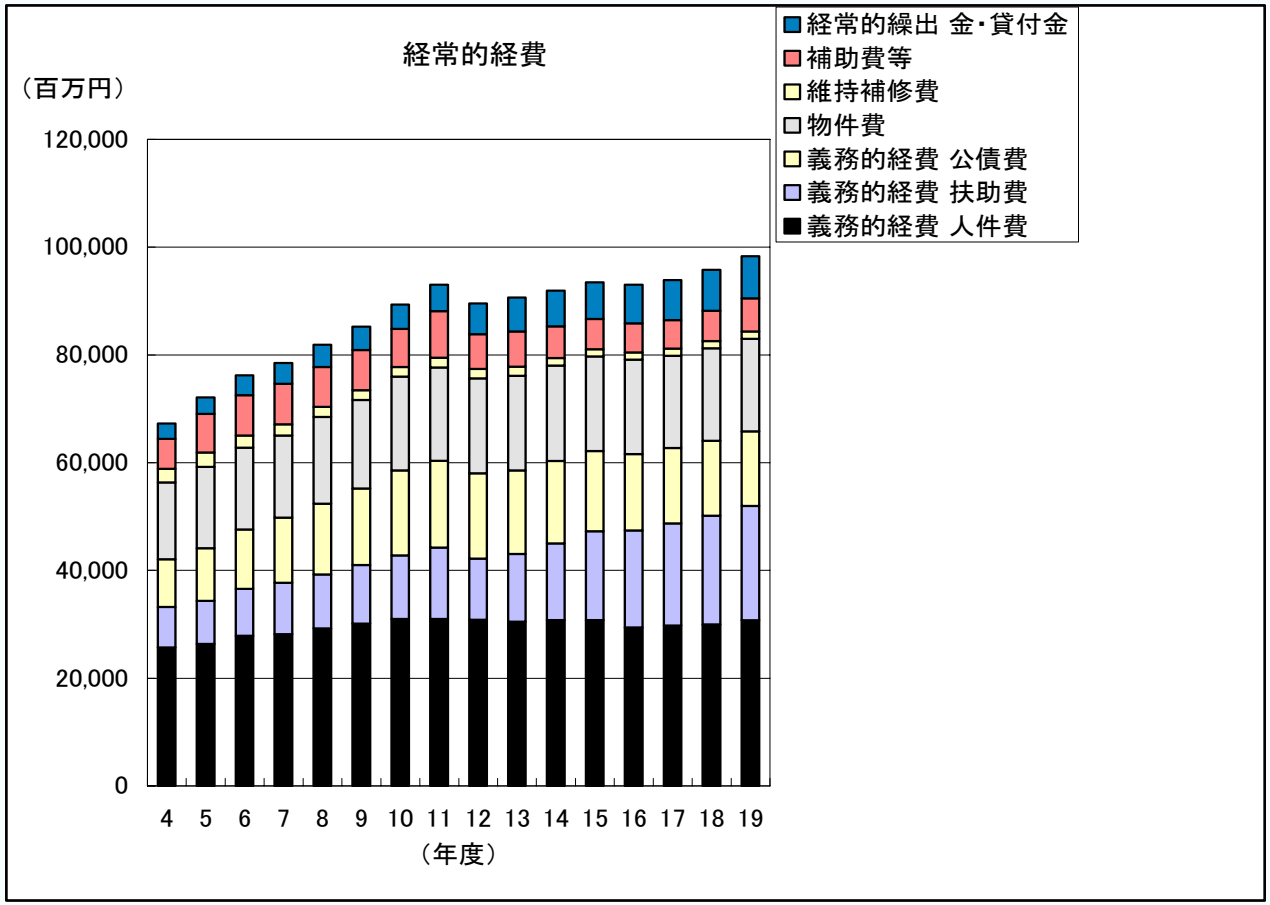
6　財政の状況
（3）担税力

- 松戸市の市民1人当たりの市税収入を「100」とした場合、千葉市「130.4」、船橋市「109.0」、市川市「113.4」、柏市「111.1」となっており、金額についても約13,000円から46,000円も少ないという水準です。



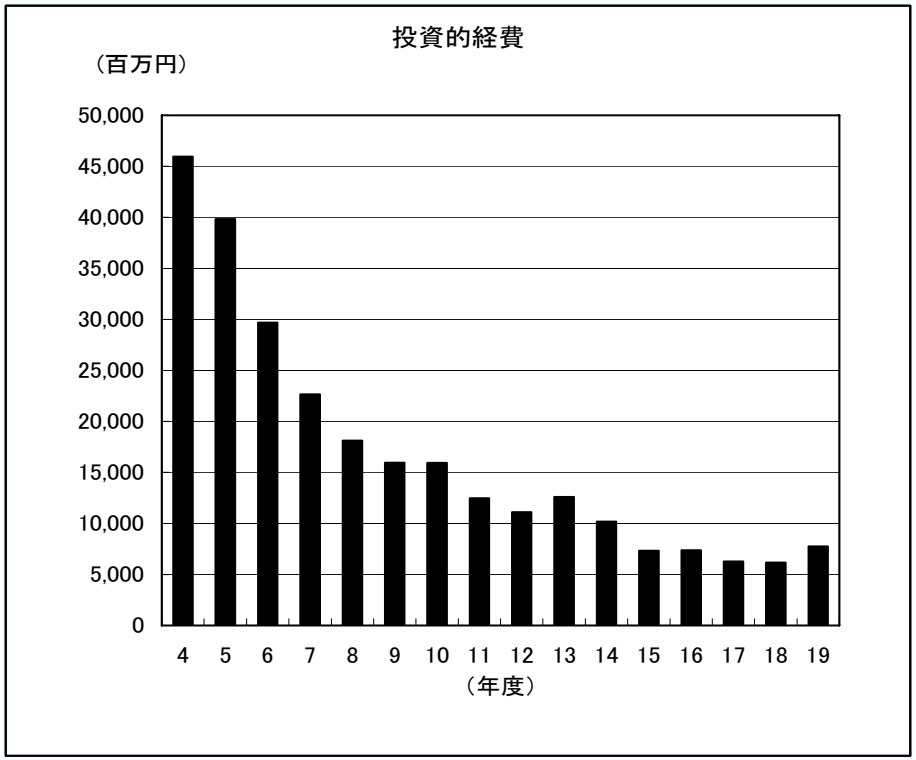
6　財政の状況
（4）経常的経費の状況

- 生活保護費等の扶助費については確実に増加しており、また、国民健康保険、老人保健事業及び介護保険特別会計への人件費及び事務費等の経常的繰出しが増えています。
- 経常的経費は、平成4年度を「100」とした場合、平成19年度は「146.2」となり、決算額に占める構成比も平成4年度の 約56％から平成19年度は 約88％を占める状況となっており、引き続き財政構造が硬直化しているといえます。



6 財政の状況
（5） 投資的経費の状況

- 大規模事業が集中していた平成4年度の投資的経費は 460億円、構成比は38.16％を占めていましたが、平成19年度は 78億円で、構成比は 6.92％となり、事業費で382億円の減となっています。
- 21世紀の森と広場、文化会館、博物館、中央保健センター、中学校給食施設、和名ケ谷クリーンセンターなどの大規模事業の完成が減額の主な要因です。

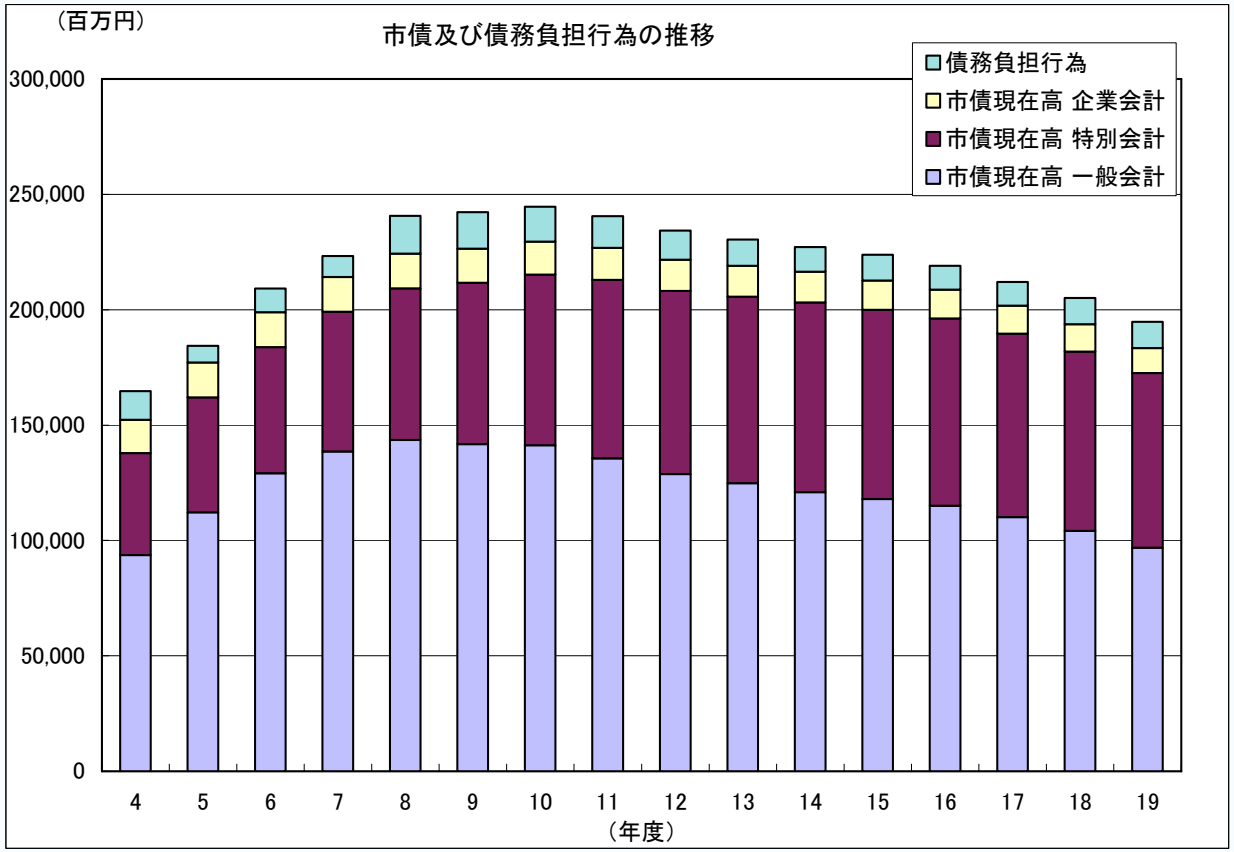


○主な普通建設事業と事業費

21世紀の森と広場	413億円	（平成5年 4月開園）
	（平成19年度までの事業費）	
博物館	48億円	（平成5年 4月開館）
中央保健福祉ｾﾝﾀｰ	24億円	（平成5年 4月開設）
文化会館	185億円	（平成5年11月開館）
松戸新田第二市営住宅	26億円	（平成5年11月完成）
中学校給食施設	59億円	（平成6年度全校完了）
和名ヶ谷ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ	313億円	（平成7年10月稼働）
和名ヶ谷ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	57億円	（平成8年 5月開設）

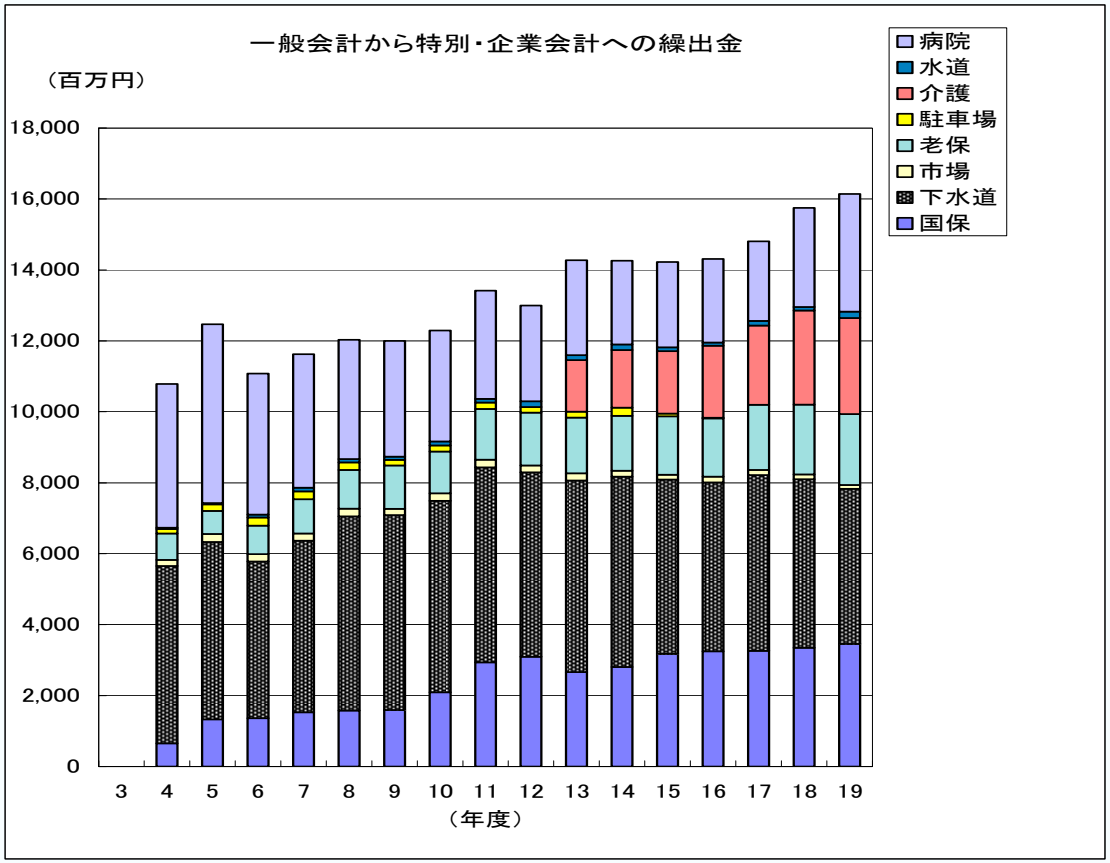
6　財政の状況
（6）市債の状況

- 市債は、市民生活に密接に関連する道路、公園、教育施設、清掃施設、文化施設などの都市基盤を整備するための財源として発行するものです。財政改革計画の実施、引き続いての行財政改革計画により、市債の発行を抑制し将来の財政負担の軽減を図っているところです。
- その結果、市債の未償還元金は、一般会計で平成18年度末1,041億円、19年度末969億円と着実に減少しており、ピーク時の平成8年度に比べて467億円減少しています。その結果、平成19年度決算では、平成4年度以来15年ぶりに1,000億円を下回る額となりました。



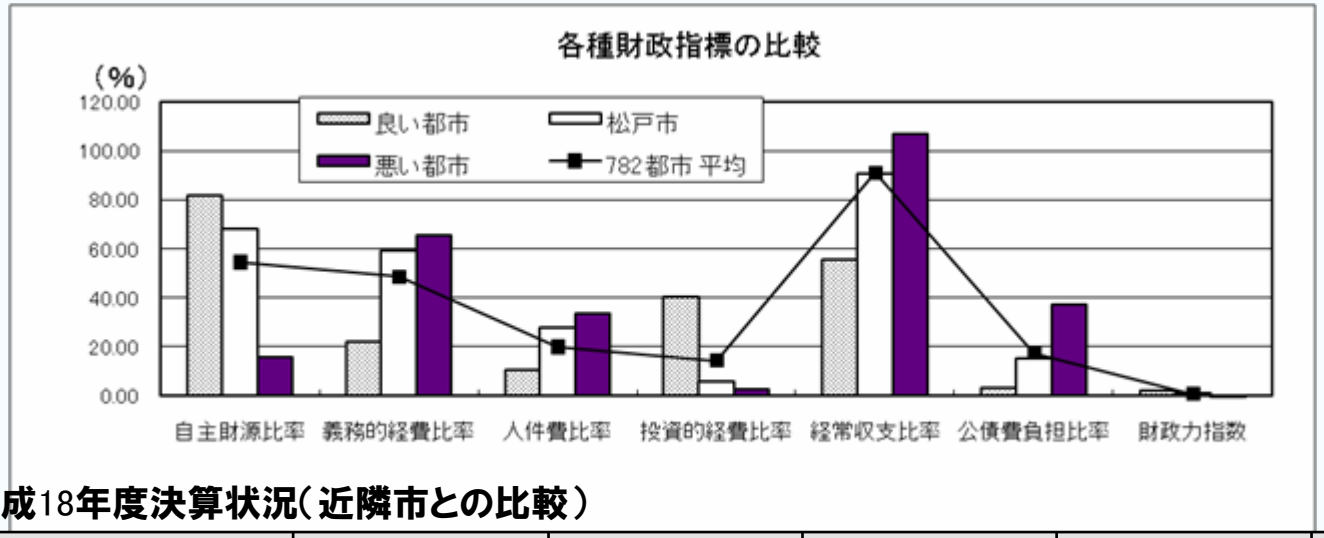
6　財政の状況
（7）特別会計・企業会計の決算状況

- 松戸市には一般会計のほかに、7つの特別会計と2つの企業会計が設置されています。これらの会計は、一般会計と分離して経理することが地方財政法等に規定されています。
- 特別会計及び企業会計の経営は独立採算が原則で、一般会計からの繰出しについては、制度上繰出すべき項目が規定されています。しかし、このほかに料金引き上げ抑制のための繰出しや、収入不足に対する繰出しなどを行っているのが現状です。特に国民健康保険、老人保健事業、介護保険特別会計への繰出額が増えています。



6 財政の状況
（8） 松戸市財政状況のランキング

- 市税等の自主財源は確保しているものの人件費比率、義務的経費比率が平均値より高く、投資的経費は平均値を下回っています。経常収支比率は平均値より若干下回っていますが、経費の増嵩を抑制できない状況を、また、建設事業に投資できない状況を読み取ることができます。



平成18年度決算状況（近隣市との比較）

	松戸市	（順位）	千葉市	（順位）	船橋市	（順位）	市川市	（順位）	柏市	（順位）
自主財源比率(%)	68.26	84	59.39	214	70.89	49	72.37	34	70.63	56
義務的経費比率(%)	58.97	760	49.25	478	51.95	613	51.90	611	52.53	634
人件費比率(%)	27.59	750	18.54	208	27.38	744	28.47	763	26.15	710
投資的経費比率(%)	5.66	754	19.77	124	11.13	540	10.80	561	9.98	599
経常収支比率(%)	90.7	351	93.2	490	93.8	521	86.4	149	90.1	321
公債費負担比率(%)	15.00	268	23.20	714	10.00	60	9.70	55	15.90	328
財政力指数	0.950	135	1.010	101	1.017	95	1.142	40	1.025	88

6 財政の状況
（9）平成19年度決算における健全化判断比率等

- 平成19年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率は、国の定めた早期健全化基準及び経営健全化基準を下回る結果となりました。これは、本市の財政状況及び公営企業の経営状況が健全であることを示します。

《健全化判断比率》

	松戸市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	― %	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	― %	16.25%	40.00%
実質公債費比率	7.4%	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	30.1%	350.0 %	

《資金不足比率》

特別会計の名称	松戸市の比率	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	― %	20.0%
下水道事業	― %	
水道事業	― %	
病院事業	― %	

備　考

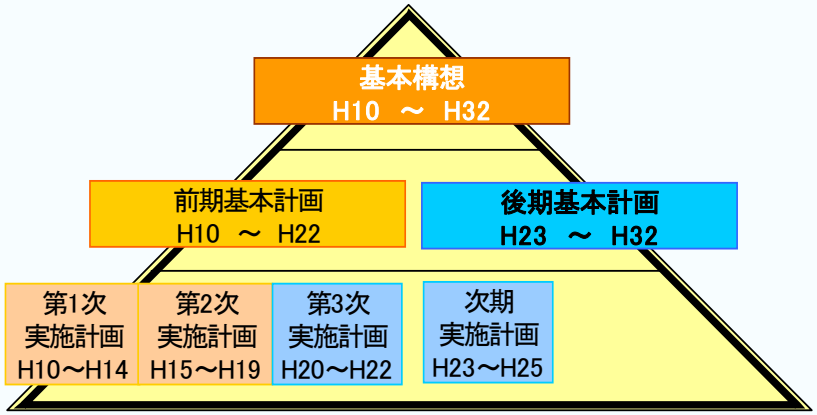
※ 松戸市の比率欄の実質赤字比率、連結実質赤字比率及び資金不足比率は、赤字及び資金不足は生じていませんので、「―%」で表示しています。

7　市の木・花・鳥

市の木	し　い （里の木）	ユーカリ （国際交流の木）	さくら （街の木）	な　し （郷土の木）
市の花	つつじ （街の花）	あじさい （庭の花）	のぎく （里の花）	
市の鳥	ふくろう （森の鳥）	つばめ （街の鳥）	しらさぎ （水辺の鳥）	
	 写真提供者:伊東　誠氏	 写真提供者:木村　稔氏	 写真提供者:西条　猛氏	

8　松戸市総合計画
（1）　総合計画とは？

- 「松戸市総合計画」は、「松戸市長期構想」の成果を受け継ぎ、平成10年4月に策定した計画です。
- 総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画から構成されています。



  - 「基本構想」は、将来の本市の発展方向を展望し、21世紀の新たな時代に向けて行政が推進すべき基本的方向を明記しています（H10～32）。
    - 地方自治法により、策定を義務付け（議会の議決が必要）
  - 「基本計画」は、基本構想の実現のために必要な施策の方向を体系的に整理しています（前期は、H10～22）。
    - 松戸市議会基本条例により、議会の議決が必要
  - 「実施計画」は、基本計画に掲げられた施策を個別事業にまとめ、財政的な裏付けをもたせた短期的な事業計画です（第3次は、H20～22）。

8　松戸市総合計画
（２）基本構想の目的など

- 基本構想の目的
  - 　基本構想は、将来の松戸市の発展方向を展望し、21世紀の新たな時代の将来像を描き、その実現のため行政が推進すべき基本的方向を示すことを目的とします。
- 基本構想の目標年次
  - 基本構想は、西暦2020年（平成32年）を目標年次とします。
- 設定人口
  - 基本構想の目標年次である西暦2020年（平成32年）の人口を50万人と設定します。

8　松戸市総合計画
（3）基本構想の基本理念など

- 基本理念
  1. 人権が尊重されすべての人が安心して暮らせるまち
  2. 快適な環境の中で人と人が支え合う地域社会のあるまち
  3. 地球にやさしい市民の交流を支える活力と魅力あるまち
- 松戸市の将来像

  「いきいきした市民の舞台」

  「ここちよい地域の舞台」

  「風格ある都市の舞台」

  のあるまち・松戸
  - 「次代を担う子どもたちのふるさと・緑花清流による松戸の創生」を合言葉に、市民、事業者、行政が一体となり、真の豊かさを感じることのできる3つの舞台が調和したまち松戸をめざします。
- まちづくりの基本方針
  - －住んでよいまち・訪ねてよいまち－

8　松戸市総合計画
（4）基本構想の施策の大綱＜1～3＞

- **第1節　連携型地域社会の形成**
  - 松戸で暮らし活動するすべての人々にとって、差別や偏見がなく基本的人権が尊重され、その能力を十分に発揮できる機会が平等に得られるまちづくりを進めます。また、市民の創意と英知を結集した力がまちづくりに生かされ、市民と行政とが協力し合う連携型地域社会を形成します。
- **第2節　豊かな人生を支える福祉社会の実現**
  - 一人ひとりの市民が、その生涯を通してそれぞれの生活に合わせた成長発達ができ、いつでも心のはりをもった豊かな人生を送れるよう、保健・医療・福祉の機会を拡充していきます。また、思いやりのある福祉が充実し地域の活力を維持し増進できる地域社会をめざし、互いに支え合って生きることができる福祉社会を実現します。
- **第3節　次代を育む文化・教育環境の創造**
  - すべての市民が生涯にわたって主体的に文化、芸術、スポーツなどを学習できるよう環境を整備し、国際的な広い視野と平和を愛する心が育まれ、郷土に誇りと愛着がもてるまちづくりを進めます。また、次代の担い手である子どもたちが、個性と創造性を備えた自立した人間として成長できるよう、家庭や地域社会とともに子どもたちを育てていきます。

8　松戸市総合計画
（4）基本構想の施策の大綱＜4～6＞

- **第4節　安全で快適な生活環境の実現**
  - 市内に残された自然環境を守り、まちづくりに生かしながら、より自然の恵みを享受できるゆとりある快適な生活空間を整備するとともに、地球規模での環境問題の解決に貢献するため、持続的発展が可能なリサイクル型のまちづくりをめざします。あわせて、防災・防犯体制の整備や消費者行政の推進により、安全で安心できる快適な生活環境を実現します。
- **第5節　魅力ある都市空間の形成と産業の振興**
  - 快適でゆとりある都市を実現するために、秩序ある土地利用を誘導し、都市活動と経済活動が調和する都市機能の強化や拠点の育成、整備に努め、魅力ある都市空間を形成します。また、広域的な交流を促進し、次代を担う先導的な産業の育成や、新たな都市型産業の展開により就業の場としての魅力を高め、活力とにぎわいのある産業の振興を図ります。
- **第6節　都市経営の視点に立った行財政運営**
  - 多様化・高度化する市民ニーズに対して的確かつ迅速にこたえるため、効果的で効率的な行政運営を推進するとともに、財源の確保を図り、長期的な事業計画に基づき適正な財政運営に努めていきます。さらに、近隣自治体との連携を高め、国、県、関係機関との協調も図りながら、市民、事業者、行政の強力なパートナーシップのもと、地方自治の確立に努めます。

松戸市の未来を考える市民フォーラム
（未来フォーラム）
概要報告書

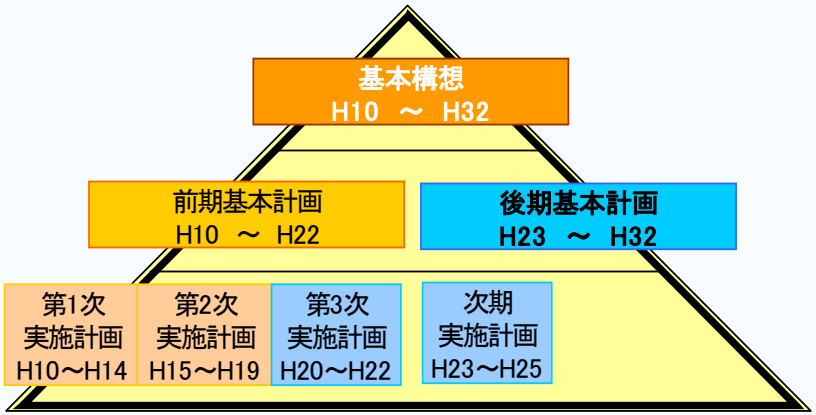
～基本計画に向けて、みんなで学んで、話し合う2日間～

イマジンまつど
～私たちの明るい未来をつくる～

平成21年8月7日
松戸市　総務企画本部　政策調整課
（委託先：(株)ヒューマンバリュー）

Ⅰ 「イマジンまつど」とは？

- 松戸市では、「松戸市総合計画前期基本計画」の期間が平成22年度までであることから、20年度から3年間をかけて、「後期基本計画」を策定することにしています



- 今回の「後期基本計画」の策定過程においては、できるだけ多くの市民や職員の想いを聴き、計画に反映していきたいと考えています
- このように、できるだけ多くの市民や職員に、松戸の明るい未来を想像してもらい、その想いを共有し、力を合わせて創造していく取り組みに、今回の計画策定がつながることを期待して、一連の取り組みを「イマジンまつど～私たちの明るい未来をつくる～」としています

Ⅱ　今回の取り組みの意義―【皆で話し合う】

皆で創りあげる
●『みんなの対話会』
私たちがどんな松戸を実現していきたいかを検討する

職員

皆で共有していく
●インタビュー内容の登録と共有

一人ひとりの話を聴く
●『あなたの想いを聴くインタビュー』（職員）

皆で創りあげる
●『未来フォーラム』
●『未来づくり会議』
●私たちがどんな松戸を実現していきたいかを検討する

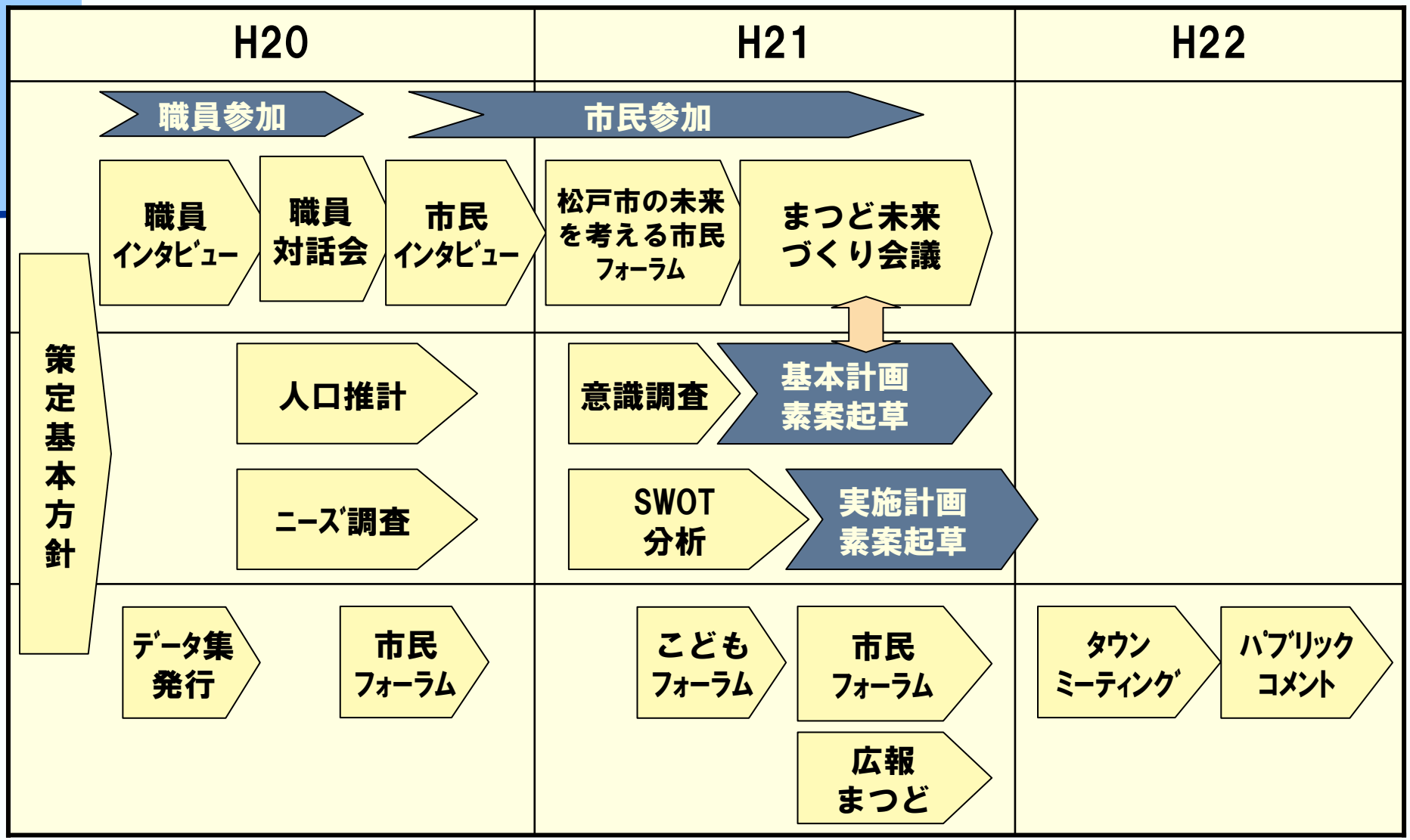
市民

皆で共有していく
●インタビュー内容のまとめと共有

一人ひとりの話を聴く
●『あなたの想いを聴くインタビュー』（市民）

こうした取り組みを市民及び職員とともに行うことで、できるだけ多くの人に計画策定に参画してもらいます

Ⅲ　全体スケジュール


H20
H21
H22
職員参加
市民参加
職員
インタビュー
職員
対話会
市民
インタビュー
松戸市の未来
を考える市民
フォーラム
まつど未来
づくり会議
策定基本方針
人口推計
ニーズ調査
意識調査
基本計画
素案起草
SWOT
分析
実施計画
素案起草
データ集
発行
市民
フォーラム
こども
フォーラム
市民
フォーラム
広報
まつど
タウン
ミーティング
パブリック
コメント

Ⅳ　未来フォーラムの概要

- **目的**
  - 松戸市に関わる幅広い人が一堂に会し、松戸のこれまでの変遷を振り返り、現状の課題に対する理解を深めた上で、未来の松戸市の姿について、話し合い、全体の方向性（全体像）について共有します
- **ゴール**
  - 参加した人々が、松戸市に関して、これまで以上に幅広い理解と高い視座を得られるようにします
  - 未来フォーラム後に開催される「まつど未来づくり会議」を運営するにあたって、参加者の関係性を高めるとともに、人々が実現したい共有ビジョンを参加者の中に創り上げ、前向きなエネルギーを得ます
- **最終アウトプット**
  - 「まつど未来づくり会議」における各テーマ（施策の大綱）ごとの分科会へのメッセージ・依頼文
- **日程**
  - 土日日程　⇒　7月4・5日（議会棟3階特別委員会室）
  - 平日日程（木曜日）⇒　7月9・16日（松戸商工会館）

Ⅴ　未来フォーラムの参加者数

	市民			職員
	申し込み	参加	欠席	参加
4日	49	48	1	8
5日	52	48	4	8
9日	61	59	2	8
16日	64	43	21	9

Ⅵ　未来フォーラムのプログラム

10:00

16:30

初日

- 市長あいさつ
- はじめに
  - チェックイン
  - 目的、進め方、スケジュール
- 松戸市のこれまでを振り返る
  - 過去30年間の年表（タイムライン）の作成
- 松戸市の今について考える
  - 私たちに影響を与えている要因やトレンドを考える
  - トレンドに関する自身の体験や思いを共有する
  - 現状を生み出してきた自分たちについて振り返る

2日目

- 松戸市の未来を想像する
  - 実現したい未来のシナリオを描く
  - シナリオの発表
- 理想の未来の実現に向けて、大切にしたい共通の拠りどころを見つける
  - 未来を実現するために、立場の異なる人々全員が合意できる共通の拠りどころについて検討する
- 明日へのステップを検討する（まつど未来づくり会議への移行）
  - 未来フォーラムで話し合った内容をより具体化していく「まつど未来づくり会議」に向けて、全員でメッセージ・エール・依頼を提言する
- 終わりに
- 副市長あいさつ

これまでを振り返る①

これまでを振り返る②

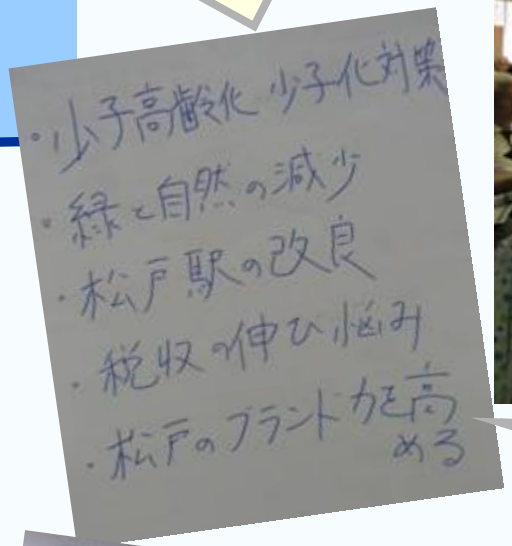
個人の年表では…松戸市に移り住んだ

松戸市の90年代は…

今について考える

私たちの未来に影響を与える要因・トレンド

子育て世代の転出



緑や自然の減少

〇〇の枝で…

教育の充実

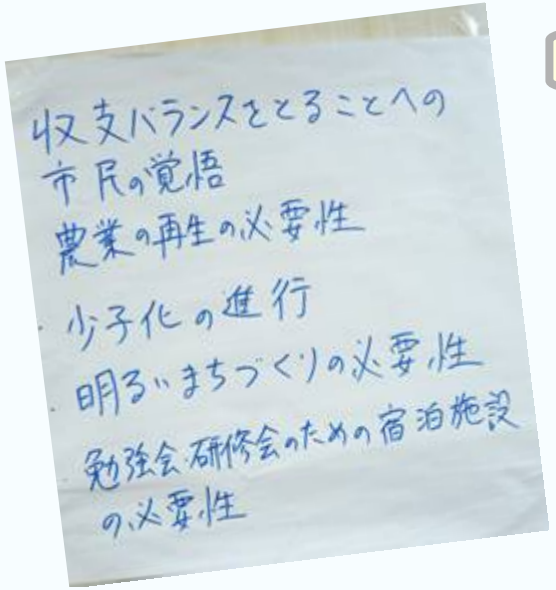
〇〇も言いたかった

今について考える

私たちの未来に影響を与える要因・トレンド

少子高齢化が

〇〇の枝で…



緑や自然の減少

教育の充実

私の体験から感じること

私の体験から感じることは…

今について考える

「誇りに思うこと」と「残念に思うこと」

未来を思い描く

理想的な未来のシナリオを作成する

7月　5日

自分を＿20＿年後にいると思ってください。今日は＿2029年7月16日＿です。

市民が農業に関わって…

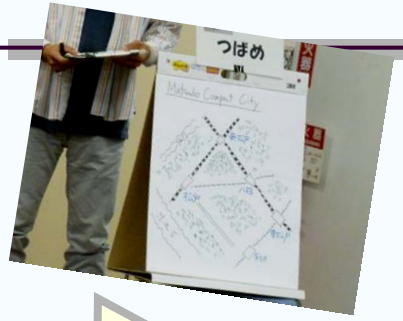
地産地消で豊かな街

青空の下で、子供達が川の清流で遊んでいる…

公園で老人と子供が手をつないであそんでいる…

寸劇①

寸劇②



なんでも松戸で出来ちゃう

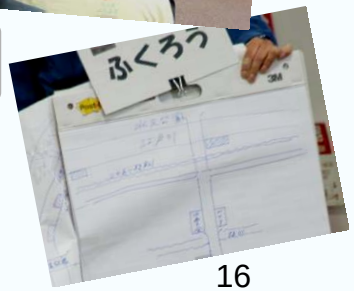
今も緑がいっぱい

明るい、平和、誰とも親しく、楽しい松戸

野菜がいっぱい。農業への市民参加

矢切のネギと…松戸の日本一

江戸川、ふれあい松戸川。

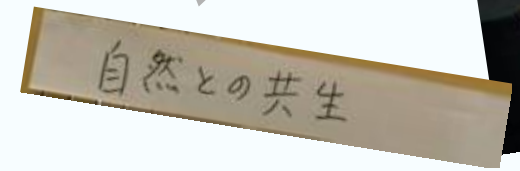


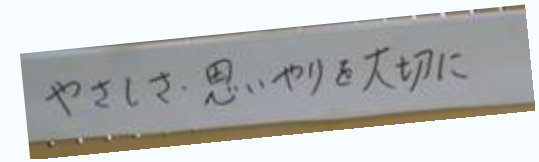
共通の拠りどころを見出す

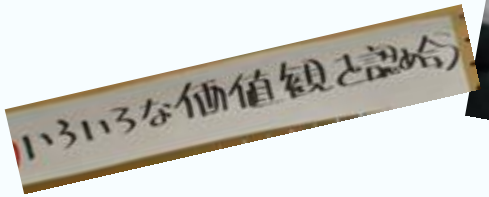
共通のよりどころ（共通点）

これは合意でよろしいですか？

これからも大切にしたいことだから

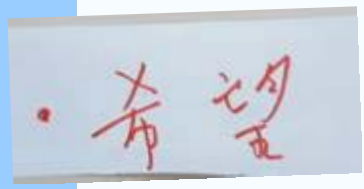


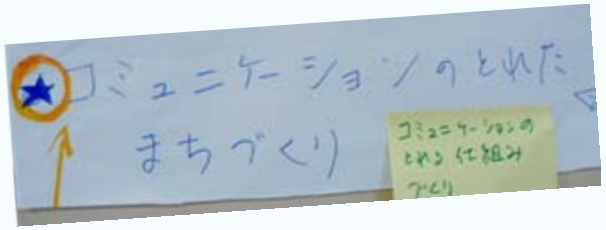


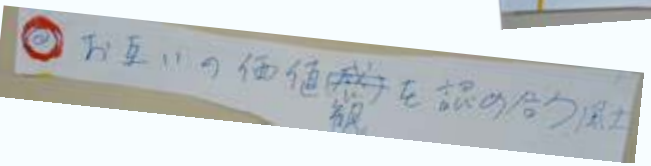


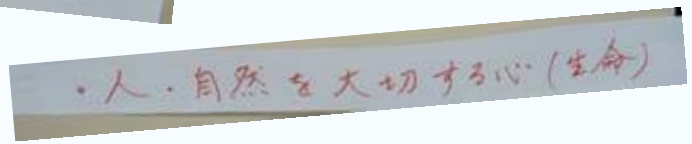
共通のよりどころ（共通点）

これは合意でよろしいですか？









これからも大切にしたいことだから

まつど未来づくり会議に向けて

クロージング

松戸は素晴らしくなると確信しました

熱い想いを持った方がこんなにいたなんて

これからが楽しみ仕方ないです

未来に参画できたことが喜びです

Ⅶ　未来フォーラムでの検討内容

アウトプット

1　連携型地域社会の形成①

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
01　市民と行政の協働を推進する 02　一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会をつくる	・シルバー人材による人材育成↑（8） ・市民パワー↑（5） ・外国人の若者↑（1） ・外国人の受入・共生↑（5） ・	・やさしさ・思いやりを大切に ・地域とのつながりを大切にする ・いろいろな価値観を認め合う ・自然との共生	○やる気　共有 ○やる場　学校 ○やり方　・人材育成・マネジメント・情報 ・協働の素地づくり（人・もの・食を含む） ・行政と市民のギャップをうめる。 ・情報の共有化 ・マネジメントの学習 ・場のマネジメントをそだてる（スタートは行政で！） ・市民の意見を集める・フォーラム ・オープンな場の提供・廃校・空き教室 ・意見の集め方を考える ・コミュニティカフェ（気軽に話せる） ・公共施設などの利用方法の効率化 ・市民と行政の協働・プロモーションしてほしい・場の設定が必要

1　連携型地域社会の形成②

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
01　市民と行政の協働を推進する 02　一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会をつくる	・地域資源の連携と活用の必要性↑（6） ・受入れ体制の必要性↑（5） ・ボランティア育成↑（9） ・町会の活性化の必要性↑（9） ・地域コミュニケーションの強化↑（12） ・働く女性への支援の必要性↑（10） ・定年退職者の受皿の必要性↑（12） ・明るいまちづくりの必要性↑（18） ・あいさつができる人の数↓（13）	・希望 ・互いの価値観を認め合う風土 ・コミュニケーションのとれたまちづくり ・人、自然を大切にする心（生命）	○ここを選んだ理由 ・人間的つながりが一番大切→サロンネットワーク作りが必要（人と顔を合わせる意識を高める）。 ・まちづくりに最初から関わってきた。35戸→2万人超（外部からの人が多い）。皆が言いたい放題→宗教から憲法問題までまとまった（地域の質が大切） ○分科会で話し合ってほしいこと ・男女共同参画の問題を取り上げてほしい（性別に関係なく、それぞれの人権が尊重され参画しやすく）。強制ではない。 ・行政だけでは進められない。市民とともに歩むべき。市民の理解を得るのが大切。 ・人と人とのつながりが大切（コミュニケーション） ・行政とのゆるやかな連携（行政の開放できる場所を自発的に作っていくことで ・独居老人にたいするボランティアの養成（有償もあり） ・関わりのない人をいかにコミュニティに引き込むか。 ・昔の人たちが打ち解けるためのプロセスを皆にもわかってほしい（歴史から学んで）→ ・弱い立場の人の生の声を拾い上げる（行政等に届ける）仕組み作り

2　豊かな人生を支える福祉社会の実現①

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
03　健康に暮らすことができるようにします 04　病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします 05　安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにします 06　市立病院として高度で良質な医療を提供します	・少子高齢化↑（19） ・老人介護↑（12） ・ひとり暮らしのお年寄り↑（8） ・少子化対策の必要性↑（23） ・児童クラブの利用料金が高い↑（5） ・子育て世代の転出↑（7） ・食育の体験学習↑（4） ・市立病院のマネジメントの民間活用↑（5）	・やさしさ・思いやりを大切に ・地域とのつながりを大切にする ・いろいろな価値観を認め合う ・自然との共生	・市立病院を複合施設にして民間が入り経営を安定させる（入院だけでなく短期で2、3日） ・介護する人が泊まれる場所があるとよい ・ボランティアの促進・コーディネート ・人と地域のつながりをつくる ・子育てしやすいまちの実現に必要な施策検討 ・子育て・高齢者・障害者の施策を他市と比較しPRする ・総合的に自分らしく生き続けられるための施策検討をすすめる ・千葉大園芸学部とともに食育をはじめ活用する ・施設で働いている人の処遇をよくする

2　豊かな人生を支える福祉社会の実現②

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
03　健康に暮らすことができるようにします 04　病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします 05　安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにします 06　市立病院として高度で良質な医療を提供します	・医療システムの明確化↑（7） ・父親の子育て参画↑（8） ・民生費↑（3） ・子どもが遊べるスペースの必要性↑（5） ・児童館の増設↑（5） ・少子化の進行↑（18） ・保育所・託児所の必要性↑（12） ・健康な老人を増やす意識↑（6） ・65歳以上の人口↑（10） ・子ども会の活性化↓（6） ・見守り、安心制度の必要性↑（3）	・希望 ・互いの価値観を認め合う風土 ・コミュニケーションのとれたまちづくり ・人、自然を大切にする心（生命）	・心にゆとりを持って、目的、相互理解をしてからの話し合い。 ・松戸市の実力に応じた施策。福祉は何か、になうのは誰かの視点を持ちながらの話し会い。 ・誰でも安心して暮らせる社会、障害持った人、高齢者、外国の方。考え方、様々な人がいることを受容することが大事 ・市立病院、松戸の顔に成るような病院をつくる。シャトルバスなどアクセス含めて大事。 ・地域で子どもを育てられるような、社会教育との連携、福祉コーディネーター、総合的に地域で子どもがそだてられるように。 ・バリアフリー社会。 ・分科会の委員だけではなく、市民の方から、コメントいただいたり、具体的な活動も、皆さんご一緒にと言う投げかけを行ったらといい

3　次代を育む文化・教育環境の創造①

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
07　子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにする 08　生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにする 09　松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにする	・高校生の県外流出↑（4） ・学校の統廃合＆跡地問題↑（1） ・小中学校の耐震化をすすめる↑（6） ・史跡や文化財↓（9） ・教育の充実↑（8）	・やさしさ・思いやりを大切に ・地域とのつながりを大切にする ・いろいろな価値観を認め合う ・自然との共生	・知識のみならず、生活の知恵や社会のルールを身につけてほしい。 ・道徳や体験を大切にする。 ・教育者が思いやりややさしさを心に持って、ゆとりを持って教育にたずさわってほしい。 ・物作りに関心の深い子ども達を育てたい。 ・環境を大切にしてほしい（エコ）。 ・豊かな心、夢のある心を大切にしたい。社会性を育てたい ・生きる力を育てる。 ・教育環境を整える ・食育の充実を考慮し推し進めてほしい。 ・生涯自信を持って参加できる、文化及びスポーツのできる施設の充実をはかってほしい。 ・健康を維持する為に、１人１種目のスポーツに参加できることが望ましい。 ・歴史や文化・伝統を大切にする。 ・市民にわかりやすい史跡・文化財の説明文や、表示をはっきりする。

4･5日開催結果

3　次代を育む文化・教育環境の創造②

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
07　子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにする 08　生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにする 09　松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにする	・体育施設の必要性↑（12） ・児童への文化教育↑（8） ・学校教育の充実↑（10） ・統廃合された学校の再利用↑（11）	・希望 ・互いの価値観を認め合う風土 ・コミュニケーションのとれたまちづくり ・人、自然を大切にする心（生命）	・コミュニティスクール制度を取り入れる ・地域の力を使って学校教育を支援するしくみを取り入れる ・市民スポーツの発展と施設の充実を取り入れる ・地域の力を活用して学校のスポーツを支援するしくみを取り入れる ・地域の人たちと一緒に、郷土の伝統文化を子供たちに伝える仕組みを取り入れる

9･16日開催結果

4　安全で快適な生活環境の実現①

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
10　災害に対する不安を減らすようにする 11　火災等の災害から市民生活を守る 12　救急救命が必要になった市民の生命をつなぐ 13　環境にやさしい地域社会をつくる 14　犯罪や事故のない安全で快適な地域社会をつくる 15　緑と花に親しむことができるようにする	・治安↓（5） ・治安強化、警察署の増設↑（1） ・犯罪↑（5） ・犯罪が少ないまちづくりのニーズ↑（9） ・犯罪被害者への支援↑（1） ・緑と自然の減少↓（21） ・地球温暖化↑（5）	・やさしさ・思いやりを大切に ・地域とのつながりを大切にする ・いろいろな価値観を認め合う ・自然との共生	・災害時の対策を十分に。 ・安心して暮らせるインフラ整備。（道路の整備を中心に） ・救急搬送の受け入れのタイアップの充実。 ・犯罪をなくす環境整備。 （地域の自治会とタイアップして防犯とかの整備を。犯罪では、お年寄りが被害をうけるひったくり等があるので、防ぐ講習会など。災害時に避難場所がわからない人がいるので消防と地域で訓練する。）

4　安全で快適な生活環境の実現②

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
10　災害に対する不安を減らすようにする 11　火災等の災害から市民生活を守る 12　救急救命が必要になった市民の生命をつなぐ 13　環境にやさしい地域社会をつくる 14　犯罪や事故のない安全で快適な地域社会をつくる 15　緑と花に親しむことができるようにする	・人が緑に遠慮する↑（10） ・自然と緑　必要性↑（16） ・緑の活用の必要性↑（6） ・緑を守るボランティアの増加↑（3） ・省エネルギー生活↑（10） ・カーシェアリングシステム必要性↑（5） ・ゴミ箱統一化・もったいない運動の必要性↑（4）	・希望 ・互いの価値観を認め合う風土 ・コミュニケーションのとれたまちづくり ・人、自然を大切にする心（生命）	○防災・防犯の視点 ・アナウンスとフィードバック ・防災無線の活用～市民からの要望 ・市民目線で考える。どこの管轄とかではなく！ ・「新たな災害」への対応検討 ○自然と緑環境 ・多様な生物と共存できる環境を作って（守って）いくことの大切さを忘れないでほしい。 ・飼い主不明の動物の保護に取り組んでほしい。 ・事故動物の生命の尊重を望んでいます。 ・緑のリサイクル ・人と自然が共生するまちづくり ・ごみの減量につながるため食材を使い切る工夫。 ○地球温暖化防止 ・地球温暖化防止活動で、環境にやさしい地域社会づくり ・中長期のCO_2削減の目標値を達成する具体的対策 ・松戸市が推進可能なコンパクトシティ等のまちづくり ・科学の進歩のみに期待するのでなく、松戸市にできるものから早急に着手することを ・省エネ生活 ・植物（つる性）をフルに利用し、夏の省エネ生活、体にやさしい生活を楽しむ。 ・温暖化防止に向け、市民一人一人の意識行動につながるよう啓発の必要性。

9･16日開催結果

5　魅力ある都市空間の形成と産業の振興①

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
16　地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする 17　個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにする 18　ゆとりを感じるまちに住むことができるようにする 19　誰もが安心してスムーズに移動できるようにする 20　安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする 21　いつでも安心して水道水が使えるようにする	・新規事業が育っていない（1） ・定年者↑（3） ・購買力↓（0） ・街並みの乱雑さ↑（11） ・交通アクセス↓（6） ・子育て世代の転出↑（7） ・弱者に優しい道づくり↑（11） ・大型宿泊施設・イベント施設の必要性↑（2） ・江戸川の有効活用↑（4） ・松戸市の農業を守りたい↑（10） ・地産地消を進めたい↑（14） ・農業者の高齢化↑（7） ・商業地↓（6） ・松戸駅の改良↑（18） ・駅前の整備↑（6） ・馬橋駅前のバス乗入れ↑（3） ・東松戸秋山地区の財政健全化↑（8）	・やさしさ・思いやりを大切に ・地域とのつながりを大切にする ・いろいろな価値観を認め合う ・自然との共生	・都市計画道路必要性の検証 ・住民ニーズに合った都市計画（道路・建物） ・河川水量確保及び水質浄化 ・親水護岸の整備 ・河川資源を活かした街づくり（江戸川散歩サイクリング） ・災害時の広域的な緊急輸送路・避難路の確保 ・広幅員道路による防火帯確率 ・歩道・自転車道の整備（人にやさしい道路） ・コミュニティバスの導入 ・中小工業廃水の監視強化 ・地域商店の支援（資金・場所） ・地元商店街の活性化 ・工業団地の跡地利用

4･5日開催結果

5　魅力ある都市空間の形成と産業の振興②

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
16　地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする 17　個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにする 18　ゆとりを感じるまちに住むことができるようにする 19　誰もが安心してスムーズに移動できるようにする 20　安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする 21　いつでも安心して水道水が使えるようにする	・住宅規制の必要性↑（5） ・すみわけの必要性↑（4） ・外郭環状道路による活性化↑（5） ・勉強・研修会のための宿泊施設の必要性↑（17） ・農業の再生の必要性↑（22） ・自転車道整備必要性↑（10） ・コミュニティバスの必要性↑（8） ・バリアフリー化の必要性↑（14） ・駅のホームのエレベーター↑（3） ・江戸川の役割↑（10） ・空家の増加↑（3）	・希望 ・互いの価値観を認め合う風土 ・コミュニケーションのとれたまちづくり ・人、自然を大切にする心（生命）	・若い人たちにとって魅力あるものに ・特色ある松戸市独自のテーマで、将来に向けての方策をつくる。たとえば、松戸市にある、地場の農業、観光資源、そういったものを加工、製造、直売したり、それを商業とする、一体としたものを、松戸市バージョンで、住民と一緒に考える仕組みを取り入れる

9･16日開催結果

6　都市経営の視点に立った行財政運営①

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
22　市民ニーズに基づく行政経営を行う 23　財源、財産を適正に管理し、配分する	・税収↓（8） ・税収の伸び悩み↑（17） ・公共施設の老朽化↑（10） ・公共施設↓（7） ・中核都市への展望↑（3） ・政令指定都市↑（3） ・知識情報を得る施設↑（7） ・広報活動の充実化↑（4）	・やさしさ・思いやりを大切に ・地域とのつながりを大切にする ・いろいろな価値観を認め合う ・自然との共生	・民間委託による経費削減 ・企業の広告、支援などを受け入れられる体制づくり ・市役所と市民がひざを交えて語れる場作り（タブーなしで） ・税の徴収率をアップする ・税金滞納の徴収の工夫 ・市内に埋もれている資源（人物）の活用 ・市有地の有効活用 ・職員の採用を一時ストップする（自然減）

4･5日開催結果

6　都市経営の視点に立った行財政運営②

政策	影響を与える要因・トレンド	共通のよりどころ	メッセージ・エール・依頼文
22　市民ニーズに基づく行政経営を行う 23　財源、財産を適正に管理し、配分する	・税収があがる要素↓（3） ・収支のバランスをとることの市民の覚悟↑（22） ・松戸市外からの資金流入の必要性↑（11） ・松戸の資産のPRの必要性↑（11） ・政令指定都市化↑（7） ・縦割↑（6）	・希望 ・互いの価値観を認め合う風土 ・コミュニケーションのとれたまちづくり ・人、自然を大切にする心（生命）	・財政にかんする、市民への説明不足。いつの間にか夕張市になっていることがないように、財政の状況今後どうなるかきちんと説明して欲しい ・市民ニーズの的確な把握 ・民営化が盛んですが、委託、民営化によって、サービス低下に成らないように ・行政だけではなく、市民も協働やっていますが、市民がやるべきこと、行政がやるべきことを把握したほうが良い ・松戸は頑固なので、一度言ったことなかなか変えてくれないとか、融通が利かない

9･16日開催結果

Ⅷ　参加者の感想（抜粋）

1　いまの率直な気持ち、感じていること

- いろいろな立場の方々から直接話を聞けてよかった
- 日常出会えない市民との話し合いができて幸せでした
- 松戸の未来に期待のもてる内容でした
- 市民の熱いパワーにフレ、経験から発せられる思いと知恵に感動しました。この結果がうまく市政に反映されればと願っています
- 新しいことにチャレンジしようと自分自身のこととしても良い経験になる
- 重みのある長時間のフォーラムでしたが、重みや長さを感じさせない程の価値のあるものでした
- とても前向きで暖かい気持ちになりました
- 話し合ったことを計画に反映させるプロセスが見えず残念。
- 新しい試みに行政が身近に感じました
- 少し疲れましたが、責任のあることだと思い頑張りました
- 業者に丸投げの印象を与えた
- これが出発点で単なるパフォーマンスで終わることのないように願うとともに、私も極力、協力していきたい
- 今まで松戸を狭い視野でしかみてこなかったが、松戸を全体的に広い視野にたってみることができました
- みんなの力がないと動き出せないことをこのフォーラムで感じました
- 年齢層が高齢であったのが残念でした
- 多くの方々が松戸のことを考えていると気づき、私も益々松戸のことを知り、すきになりました
- 外国人も参加してほしい。ハンディのある方は会場の都合上、無理ですか？
- あまりにも自由に発言させていたため、今後の対応が難しいと考えています
- 発言を聞いて初めて自分自身の中でも具体的になることもあると感じた
- 対面式の話し合いでよかった
- 会社を離れて7年久しぶりに充実した二日間でした。短い時間でしたが、過去を振り返り、先のことを考えるということは私でももちろん、公でも大変に大事なことと実感しました
- 20年後の松戸市が緑あふれる人や生物にやさしい街になっているよう、思いを途切れさせないことで、素敵な松戸になるような気がする
- 行政サイドを含め市民の一人ひとりが共通の価値観をもって目標に挑戦することは間違いなく大きな力になるものと確信しています
- 人選を考えるべき。意見を親指の上下に決める方法は理解できない
- 平日昼間はつらい
- 内容に疑問が残る。今までの一連の作業が本当に必要なのか（特に寸劇）
- たくさんの方と時間を共有でき、とてもぜいたくな気分です
- 自分の考えを表現するのは気持ちいいですね

2　自分なりに大事にしたいこと、取り組んでみたいこと

- 学校現場で、地域とのつながりを考えたい
- 協働のまちづくりを実現させたい
- 協働のまちづくり条例のフォロー
- 地域でのつながりももっと深くしていけたら
- 自分の身近なところから、「ボランティア活動」と思えるできることから動き始めたい
- 松戸市に住んでよかった、これからも松戸市のために尽力したい
- 周りの人たちを大切に和を広げていく
- 異世代の交流、若い世代のフォーラム等の参画を推進していきたい
- 松戸の史跡、戸定邸を含む旧散策コースづくり
- 緑を大切にしていきたい
- 今回のフォーラムの内容を自分の地域の集まりなどで報告したい
- 弱者に優しい行政、まちづくり
- 子どもたちにお話しをたくさん届けたい
- ボランティア間の連絡体制にITが活用できないか
- 子どもたちに道徳について学んでいただきたい
- エコ紙とんぼ協会と牛乳メーカーや松戸市のもったいない運動とのタイアップ
- 少年、若い力を少年補導活動に積極的に参加していただけるようによびかける
- 若者同士が話し会い、相談できる場をつくってみたい
- 正しい市史を理解し、次世代に伝承したい
- 人の意見に耳を傾ける大切さを感じました
- 緑を守ることを大切にしていきたい
- 自然災害に配慮した都市基盤整備の提案
- 食の安全のツール（消費者のためのチェックリスト）を完成させる
- 女性・若者等の就労支援とキャリア教育
- 市民の居場所づくり
- 高齢者が健康で過ごせる街づくりに、又、近隣の方と協力しながら手助けできることをしたい
- 有機農業の精神を広めたい
- 自然環境を守ることを第一に、市場、商店街の活性化が伴うことで、元気で明るい松戸が継続できる
- 町会、自治会、NPO,ボランティア等の市民の「力」を地域社会が抱えている様々な課題と結び付けていくこと
- サロンネットワークの形成（地域での話し合う場づくり）
- 街のどこかでお会いしたら声をかけ、おしゃべりしたいと思います
- 市職員も積極的に市民の中に入っていかねばならないと感じている

3　そのほか、参加した皆さんやスタッフに伝えたいこと

- 具体的な施策のレベルになったときに、総論賛成各論反対や財政的な裏づけのない理想論や現場の負担が増すだけのものにならないように
- 少数意見も大切にとりあつかっていただきたいと存じます
- 自分の分野だけに片寄る傾向もみられ、もっと広い視野で物事がみれたらもっと良い
- 市役所の職員がスキルを身につけ、自前のフォーラムができるように
- ここまで来れたという想いと未来会議のスタートが始まるという期待がある
- きめ細かい配慮をいただき、気持ちよく参加できました
- 市民の意見がより多く取り入れられるように期待しています
- このフォーラムに保育がつきましたら、子育て中の方も参加できます。若いお母さんの力ってすごいですよ。
- この程度の進行は一度、研修すれば職員でもできると思います。職員の方が汗をかいてください。
- 本気でこの問題を必ず成功させ、より良い松戸市にして、日本で有名にしていきましょう
- 全国的に注目されるアイデアが、このフォーラムを出発点として次々出されることを期待するとともに、私もできる限り協力していきたい
- 今回のインタビュー、フォーラムで行政と市民のハードルが低くなって欲しいと思います
- 全員が賛成できることはほんの4点、難しいものですね
- 松戸の生涯教育については、センター的なものが欲しい
- 小学校の生徒さんの考えをまちづくりに取り入れて欲しい　高校生たちの意見を反映させていただきたい
- 今回の企画に松戸市のリーダーシップを感じられました
- 参加者の中に、松戸市の職員がいましたが、何か、意味、意図があったのでしょうか
- フォーラムに参加した市民の皆さんは寸劇で発表されたとおり、松戸に住み続けたいと熱いっぱいでした
- 事務局も参加した方がよかったのではないか
- 若い女性の参加もあると子育て、若夫婦の住みやすい街づくりなどがテーマとして持ち上がったと考える。男女の比率で女性の比率をあげたい
- グループ発表の際、時間厳守を事前に約束事として伝えてもらい、発表途中でも切ることも平等に配慮することとして必要
- 進行（司会）の方がよかったです
- 20年後に、今、皆が考えあったことが実現しているよう、空論にならないよう、皆で見守っていかなければならない
- 今回の一連の取り組みで重要なことは、立場や意見の異なる人々が対立関係にならないようにするための技術的な手法を学ぶだけではない、時再に向き合ってみることで未来を担う職員として必要な感性を磨くことではないでしょうか
- 委員を選ぶ過程が事前にわからなかったので、少しとまどっている声も聞かれました
- 役所職員が加わっていたことは評価できます
- お弁当おいしかったです。フリーで話す時間がもう少し欲しかったです
- この場で話されたことが、なんらかの形で市民に広報され、市政や福祉の現場に反映されるように機能します
- こんなワークショップONLYの集まりは初めてです。スタッフの皆さんよくやりました。参加者もよくがんばりました。＜拍手！！＞
- 市のスタッフの方々の人数多すぎませんか？説明中の私語に何度も迷惑を感じた